

阿見町 橋梁長寿命化修繕計画

令和7年3月

計画機関 阿見町 産業建設部 道路課
作業機関 一般財団法人 茨城県建設技術公社

目 次

	Page
1. 長寿命化修繕計画の目的	1/38
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁	3/38
3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針	7/38
4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針.....	9/38
5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期	31/38
6. 長寿命化修繕計画による効果	33/38
7. 新技術の活用方針	34/38
8. 短期的な数値目標	34/38
9. 計画策定担当部署	34/38
10. 対策費用(10年間)	35/38

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 目的

阿見町が管理する橋梁は73橋あるが、その多くが高度経済成長時に建設されており、今後、高齢化が急速に進み、劣化損傷による第三者被害の危険、大規模補修や架け替えによる膨大な費用及び損傷や工事に伴う通行規制による社会的損失等が急増する事が予測される。

このことから、橋梁の維持管理コストの縮減を図るため、「事後保全」型維持管理から損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う「予防保全」型維持管理への転換を図る。

各個別橋梁の補修・補強対策については、損傷が発見された橋梁を優先し、損傷の劣化速度を予測し、重大な損傷の発生による道路ネットワークが遮断される事のないよう計画的に補修工事を行う。

また、定期点検を実施し、軽微な損傷であっても早期に発見する事で、重点的に取り組むことができる。

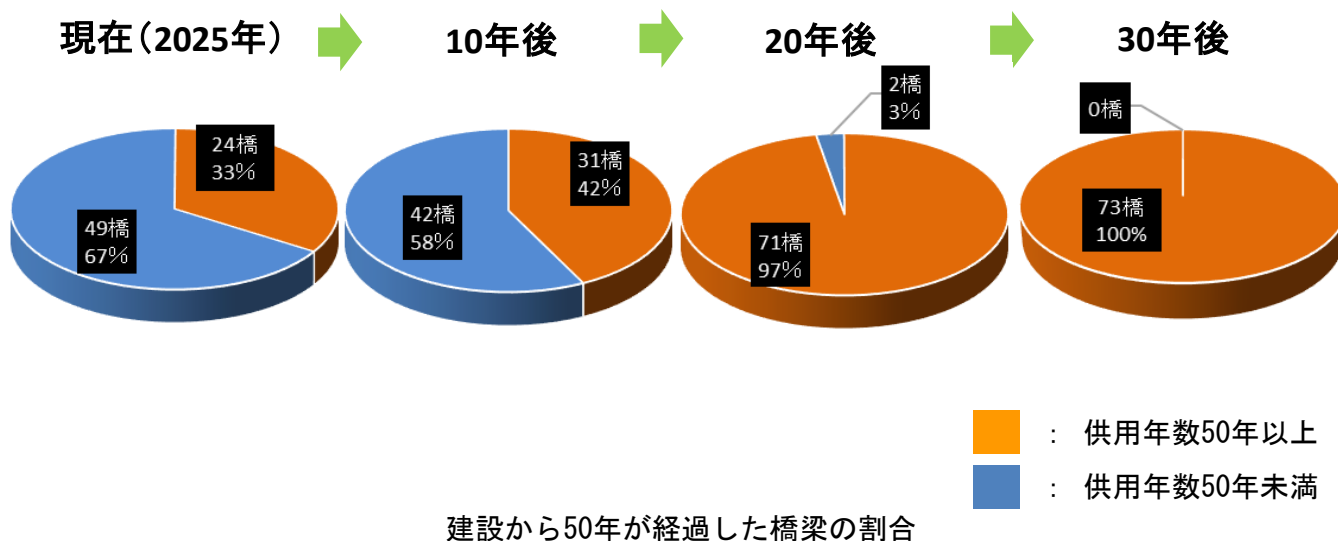
● 予防保全型維持管理

・ 損傷を放置する事により補修費の負担増が予測されることから、軽微な段階での早期対策による損傷進展防止を図るために、道路ネットワークに与える影響が大きい橋梁を対象とした維持管理手法。

2) 管理橋梁の現状

現在管理する橋梁は73橋であり、このうち1970年以前に架設され、供用年数が50年以上である橋梁は全体の29 %である。

10年後、供用年数が50年以上となる橋梁の割合は42 %である。また20年後は97 %まで増加し、30年後には全ての橋梁が供用年数50年以上となる。



● 管理橋梁数

15 m未満の橋梁数	60
15 m以上50 m未満の橋梁数	13
合 計	73

3) 前回の対策結果

令和2年からの計画の運用開始以降、令和6年までに6橋の補修を実施しており、当初計画に対し40%（6橋/15橋：R2～R6）の進捗であった。

橋梁 番号	橋梁名	計画 年次	対策 年次	対策内容
	1001橋	R4	R6	ひび割れ補修・断面修復
	1002橋	R4	R6	ひび割れ補修・断面修復・橋面防水・塗装塗替
	1010橋	R4	未	未対策
	1014橋	R5	未	未対策
	1017橋	R4	未	未対策
	1018橋	R6	未	未対策
	2014橋	R5	未	未対策
	谷津橋	R4	R6	ひび割れ補修
	下小池橋	R5	未	未対策
	福田下橋	R4	R6	ひび割れ補修・断面修復・橋面防水・塗替塗装
	6007橋	R4	R6	ひび割れ補修・断面修復・橋面防水
	6008橋	R5	未	未対策
	福田上橋	R4	未	未対策
	6011橋	R3	R3	護岸補修
	南平橋	R6	未	未対策

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	1級町道 に位置 する橋 梁	2級町道 に位置 する橋 梁	県道・高 速道路を 跨ぐ橋梁	左記以 外の橋 梁	合計
全管理橋梁数	12	3	4	54	73
■予防保全Ⅰ型管理橋梁（桁下状況が県道・高速道路を跨ぐ橋梁）	0	0	4	0	4
■予防保全Ⅱ型管理橋梁（桁下状況が河川・開水路の橋梁）	12	3	0	54	69

■予防保全Ⅰ型管理橋梁（桁下状況が県道・高速道路を跨ぐ橋梁）

No.	橋梁番号	橋梁名	路線種別	供用年	径間数	橋長 (m)	上部工形式	交差状況	適用示方書	迂回路の有無	点検実施年度	方針
15	1017	1017橋	市町村道 その他	2006	1	10	RC橋：RC溝橋（BOXカルバート）	道路（圏央道）	平成14年	有り	2023	第三者被害を防止する観点から高速道路及び道路を跨ぐ橋梁について、高い管理レベルで維持管理する手法。
16	1018	1018橋	市町村道 その他	2005	1	37.3	PC橋：ポステンT桁	道路（圏央道）	平成8年	有り	2023	
50	4009	谷津橋	市町村道 その他	1997	1	33.7	PC橋：ポステン中空床版	道路	平成6年	有り	2023	
72	6018	南平橋	市町村道 その他	1996	1	34.3	鋼溶接橋：I桁（不明）	道路	平成6年	無し	2023	

■予防保全Ⅱ型管理橋梁（桁下状況が河川・開水路の橋梁）

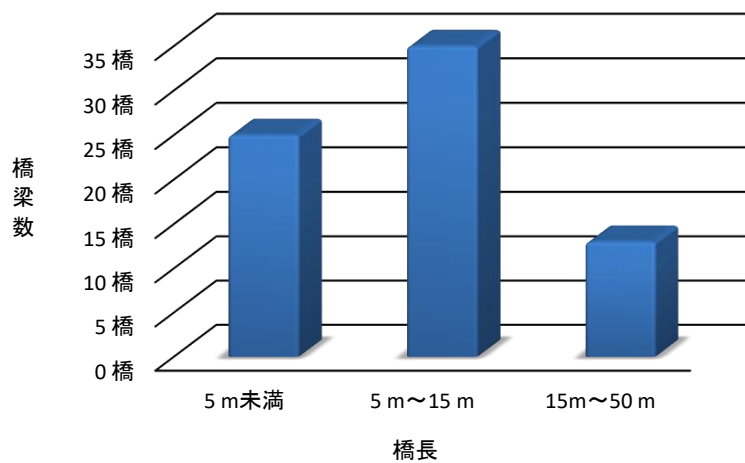
No.	橋梁番号	橋梁名	路線種別	供用年	径間数	橋長 (m)	上部工形式	交差状況	適用示方書	迂回路の有無	点検実施年度	方針
1	1001	1001橋	市町村道 1級	1979	1	2.3	RC橋：RC溝橋（BOXカルバート）	開水路	昭和53年	有り	2023	予防保全Ⅰ型に比べ、管理レベルを下げた維持管理する手法。（主に河川を跨ぐ橋梁について適用）
2	1002	1002橋	市町村道 2級	1970	1	9.5	PC橋：プレテン床版	河川	昭和39年	有り	2023	
3	1004	1004橋	市町村道 その他	2013	1	2.39	RC橋：RC溝橋（BOXカルバート）	開水路	平成14年	有り	2023	
4	1006	1006橋	市町村道 その他	1979	1	2.3	RC橋：RC溝橋（BOXカルバート）	開水路	昭和53年	有り	2023	
5	1007	1007橋	市町村道 その他	1976	1	3.4	RC橋：RC桁橋（その他）	開水路	昭和47年	有り	2023	
6	1008	道祖神橋	市町村道 その他	1982	1	11.41	PC橋：プレテン床版	河川	昭和55年	有り	2023	
7	1009	1009橋	市町村道 その他	1970	1	9.5	PC橋：プレテン床版	河川	昭和39年	有り	2023	
8	1010	1010橋	市町村道 その他	1970	1	9.5	PC橋：プレテン床版	河川	昭和39年	有り	2023	
9	1011	実穀上橋	市町村道 その他	1987	1	11.5	PC橋：プレテン床版	河川	昭和53年	有り	2023	
10	1012	実穀下橋	市町村道 その他	1987	1	11.3	PC橋：プレテン床版	河川	昭和53年	有り	2023	
11	1013	1013橋	市町村道 その他	1967	1	9.5	PC橋：プレテン床版	河川	昭和39年	有り	2023	
12	1014	1014橋	市町村道 1級	1979	1	2.32	RC橋：RC溝橋（BOXカルバート） RC橋：RC 中実床版	開水路	昭和53年	有り	2023	
13	1015	1015橋	市町村道 その他	1970	1	3.2	RC橋：RC溝橋（BOXカルバート）	開水路	昭和39年	有り	2023	
14	1016	本郷橋	市町村道 その他	1987	1	11	PC橋：プレテン床版	河川	昭和55年	有り	2023	
17	2001	柿の木橋	市町村道 1級	1972	2	41	鋼溶接橋：H形鋼（不明）	河川	昭和39年	有り	2023	
18	2003	2003橋	市町村道 その他	1982	1	2.86	RC橋：RC溝橋（BOXカルバート）	開水路	昭和55年	有り	2023	
19	2004	どうめき橋	市町村道 その他	1966	1	6.35	PC橋：プレテン床版	河川	昭和39年	有り	2023	
20	2005	2005橋	市町村道 その他	1982	1	6.35	PC橋：プレテン床版	河川	昭和55年	有り	2023	
21	2006	2006橋	市町村道 その他	1982	1	2.86	RC橋：RC溝橋（BOXカルバート）	開水路	昭和55年	有り	2023	
22	2007	2007橋	市町村道 その他	1990	1	2.32	RC橋：RC溝橋（BOXカルバート）	開水路	昭和55年	有り	2023	
23	2008	2008橋	市町村道 その他	1990	1	2.32	RC橋：RC溝橋（BOXカルバート）	開水路	昭和55年	有り	2023	
24	2009	2009橋	市町村道 1級	1988	1	2.32	RC橋：RC溝橋（BOXカルバート）	開水路	昭和55年	有り	2023	
25	2010	2010橋	市町村道 その他	1992	1	5.5	RC橋：RC桁橋（その他）	開水路	平成2年	有り	2023	
26	2011	2011橋	市町村道 その他	1990	1	5.5	RC橋：RC桁橋（その他）	開水路	昭和55年	有り	2023	
27	2012	2012橋	市町村道 その他	1990	1	5.5	RC橋：RC桁橋（その他）	開水路	昭和55年	有り	2023	
28	2013	2013橋	市町村道 2級	1993	1	2.42	RC橋：RC溝橋（BOXカルバート）	開水路	平成2年	有り	2023	
29	2014	2014橋	市町村道 1級	1990	1	2.3	RC橋：RC溝橋（BOXカルバート）	開水路	昭和55年	有り	2023	
30	2015	2015橋	市町村道 その他	1982	1	2.42	RC橋：RC溝橋（BOXカルバート）	開水路	昭和55年	有り	2023	
31	2016	2016橋	市町村道 その他	1982	1	2.32	RC橋：RC溝橋（BOXカルバート）	開水路	昭和55年	有り	2023	
32	2018	2018橋	市町村道 その他	1992	1	5.5	RC橋：RC桁橋（その他）	開水路	平成2年	有り	2023	

■ 予防保全Ⅱ型管理橋梁（桁下状況が河川・開水路の橋梁）

No.	橋梁番号	橋梁名	路線種別	供用年	径間数	橋長 (m)	上部工形式	交差状況	適用示方書	迂回路の有無	点検実施年度	方針
33	2019	2019橋	市町村道 その他	1982	1	2.4	RC橋：RC溝橋（BOXカルバート）	開水路	昭和55年	有り	2023	早めの補修(管理水準C)を行い、可能な限り延命を図る。
34	2020	2020橋	市町村道 その他	1982	1	2.4	RC橋：RC溝橋（BOXカルバート）	開水路	昭和55年	無し	2023	
35	3001	3001橋	市町村道 1級	2000	1	12.5	PC橋：ボステン中空床版	河川	平成8年	有り	2023	
36	3002	竹来橋	市町村道 1級	1994	1	13.57	PC橋：ブレテン中空床版	河川	平成2年	有り	2023	
37	3003	上条橋	市町村道 1級	1993	1	21.1	PC橋：ブレテンT桁	河川	平成2年	有り	2023	
38	3004	大竹橋	市町村道 2級	1990	1	12	鋼溶接橋：H形鋼（不明）	河川	昭和55年	有り	2023	
39	3005	3005橋	市町村道 その他	1954	1	2.3	RC橋：RC溝橋（BOXカルバート）	開水路	昭和14年	有り	2023	
40	3007	3007橋	市町村道 その他	1981	1	6.35	PC橋：ブレテン床版	河川	昭和55年	有り	2023	
41	3008	3008橋	市町村道 その他	1981	1	7.4	PC橋：ブレテン床版	河川	昭和55年	有り	2023	
42	3009	3009橋	市町村道 その他	1962	1	2.45	RC橋：RC溝橋（BOXカルバート）	開水路	昭和31年	有り	2023	
43	3010	白鷺橋	市町村道 その他	2004	1	12.5	PC橋：ブレテン中空床版	河川	平成14年	有り	2023	
44	4001	4001橋	市町村道 その他	1954	1	2.6	RC橋：RC 中実床版	開水路	昭和14年	有り	2023	
45	4002	4002橋	市町村道 その他	1986	1	2.4	RC橋：RC溝橋（BOXカルバート）	開水路	昭和55年	有り	2023	
46	4004	4004橋	市町村道 その他	1954	1	2.65	RC橋：RC 中実床版	開水路	昭和14年	有り	2023	
47	4005	4005橋	市町村道 その他	1954	1	3.76	RC橋：RC 中実床版	開水路	昭和14年	有り	2023	
48	4007	4007橋	市町村道 その他	1954	1	2.4	RC橋：RC 中実床版	開水路	昭和14年	有り	2023	
49	4008	権現橋	市町村道 その他	1990	1	24.3	鋼溶接橋：I桁（不明）	河川	昭和55年	有り	2023	
51	5001	学校橋	市町村道 1級	1986	1	18.9	PC橋：ブレテン中空床版	河川	昭和55年	有り	2023	
52	5002	六反橋	市町村道 その他	1990	1	24.3	鋼溶接橋：I桁（不明）	河川	昭和55年	有り	2023	
53	5003	浅間橋	市町村道 その他	1992	1	24.3	PC橋：ボステンT桁	河川	平成2年	有り	2023	
54	5005	不動橋	市町村道 その他	1993	1	20.8	PC橋：ブレテンT桁	河川	平成2年	有り	2023	
55	5006	香澄橋	市町村道 その他	1993	1	20.86	PC橋：ブレテンT桁	河川	平成2年	有り	2023	
56	6001	下小池橋	市町村道 1級	1956	1	5.3	RC橋：RC 中実床版	河川	昭和14年	有り	2023	
57	6002	福田下橋	市町村道 1級	1955	1	7.1	RC橋：RC T桁 鋼溶接橋：H形鋼（不明）	河川	昭和14年	有り	2023	
58	6003	島田橋	市町村道 1級	1981	1	8.5	PC橋：ブレテン床版	河川	昭和55年	有り	2023	
59	6004	6004橋	市町村道 その他	2001	1	2.32	RC橋：RC溝橋（BOXカルバート）	開水路	平成8年	無し	2023	
60	6005	6005橋	市町村道 その他	1967	1	10.4	PC橋：ブレテン床版	河川	昭和39年	有り	2023	
61	6006	6006橋	市町村道 その他	1970	1	10.4	PC橋：ブレテン床版	河川	昭和39年	有り	2023	
62	6007	6007橋	市町村道 その他	1967	1	10.4	PC橋：ブレテン床版	河川	昭和39年	有り	2023	
63	6008	6008橋	市町村道 その他	1967	1	10.5	PC橋：ブレテン床版	河川	昭和39年	有り	2023	
64	6009	6009橋	市町村道 その他	1967	1	10.4	PC橋：ブレテン床版	河川	昭和39年	有り	2023	
65	6010	福田上橋	市町村道 その他	1955	1	5.4	RC橋：RC T桁 PC橋：ブレテン床版	河川	昭和14年	有り	2023	
66	6011	6011橋	市町村道 その他	1967	1	10.5	PC橋：ブレテン床版	河川	昭和39年	有り	2023	
67	6012	6012橋	市町村道 その他	1967	1	10.5	PC橋：ブレテン床版	河川	昭和39年	有り	2023	
68	6013	高根橋	市町村道 その他	1981	1	8.5	PC橋：ブレテン床版	河川	昭和55年	有り	2023	
69	6015	6015橋	市町村道 その他	1977	1	9.4	PC橋：ブレテン床版	河川	昭和47年	有り	2023	
70	6016	6016橋	市町村道 その他	1981	1	8.5	PC橋：ブレテン床版	河川	昭和55年	有り	2023	
71	6017	根崎橋	市町村道 その他	1972	2	38.2	鋼溶接橋：H形鋼（不明）	河川	昭和39年	有り	2023	
73	6019	福田新橋	市町村道 その他	2001	1	21.6	PC橋：ブレテンT桁	河川	平成8年	有り	2023	

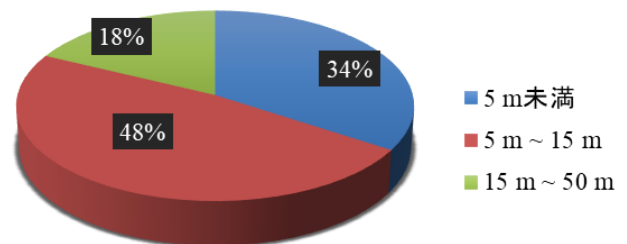
■対象橋梁の現況
【橋長の分布】

橋長内訳



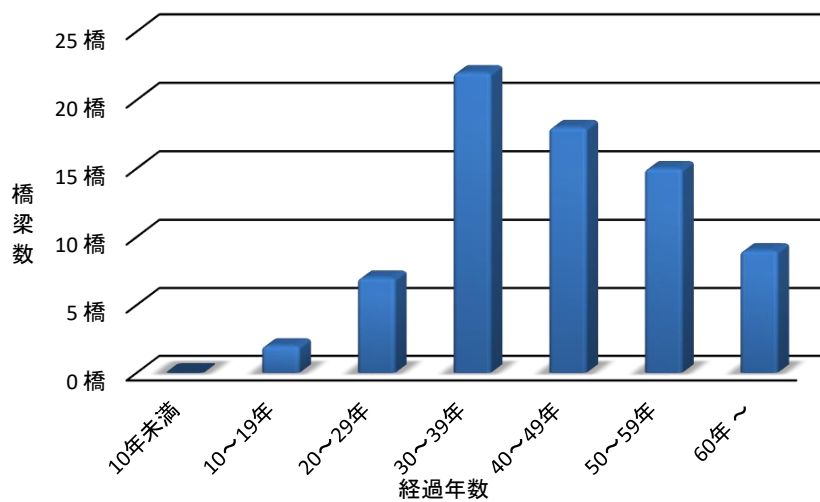
橋長の割合

橋長	橋梁数
5 m未満	25 橋
5 m～15 m	35 橋
15m～50 m	13 橋



【橋の年齢分布】

経過年数



経過年数	橋梁数
10年未満	0 橋
10～19年	2 橋
20～29年	7 橋
30～39年	22 橋
40～49年	18 橋
50～59年	15 橋
60年～	9 橋

2025年現在

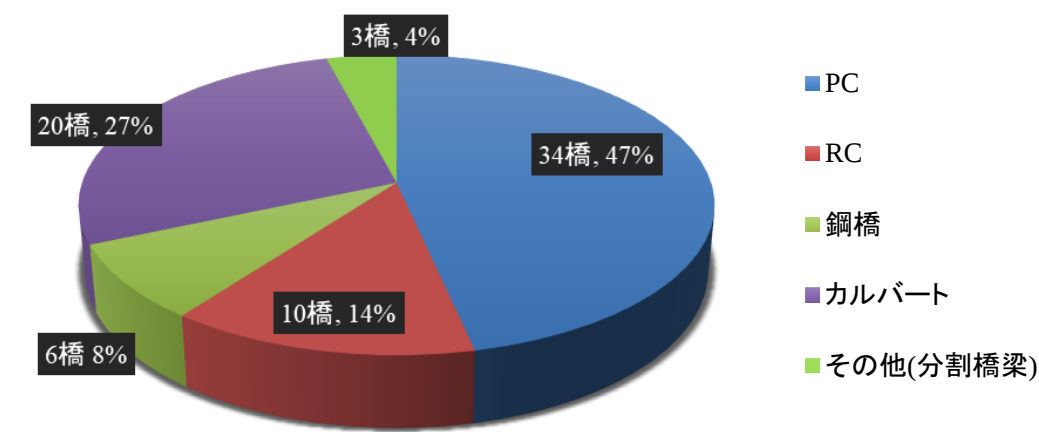
参考：架設後30年以上経過する橋梁

$$\frac{64 \text{ 橋}}{73 \text{ 橋}} \times 100 \approx 87\%$$

64橋

【橋の構造内訳】

橋梁の構造形式



橋種	PC橋	RC橋	鋼橋	カルバート	その他（分割橋梁）	合計
橋梁数	34橋	10橋	6橋	20橋	3橋	73橋
橋梁の比率	47%	14%	8%	27%	4%	100%

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的方針

阿見町では、「橋梁点検の手引書 令和2年3月」に基づき、5年に1回の近接目視を基本とした定期点検を実施し、橋梁の損傷状況（健全度）を把握し、今後の策定計画に反映させる。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好な状態に保つため、パトロールによる日常的な維持管理を実施するとともに、清掃や土砂詰まりの除去等を行い、比較的対応が容易なものについては日常の維持作業により実施する。

3) 新技術の活用方針

従来技術と新技術の比較検討を行い、有用な技術は積極的に活用することで、業務の効率化・高度化を推進するとともに、安全性の向上やコスト削減を目指す。

また、国土交通省の『点検支援技術性能カタログ（案）』やNETIS等を活用し、最新の技術動向を踏まえた適用可能な新技術・新工法の導入を検討し、維持管理コストの縮減を図る。

〈 解説 〉

● 点検方法

【点検項目】

定期点検における損傷の評価項目は、「橋梁点検の手引書 令和2年3月」に基づき、部位・部材毎、損傷の種類毎損傷程度の評価を行うこととした。

定期点検における損傷の種類と評価方法

損傷の種類		評価方法	備考
鋼部材	腐食	a～e	
	亀裂	a～e	
	ゆるみ・脱落	a～e	
	破断	a～e	
	防食機能の劣化	-	損傷があれば、その旨を記載する。
コンクリート部材	ひびわれ	a～e	
	剥離・鉄筋露出	a～e	
	漏水・遊離石灰	a～e	
	抜け落ち	a～e	
	床版ひびわれ	a～e	
	うき	-	損傷があれば、その旨を記載する。
その他	遊間の異常	-	損傷があれば、その旨を記載する。
	路面の凹凸	a～e	
	舗装の異常	-	損傷があれば、その旨を記載する。
	支承部の機能障害	a～e	
	その他 [※]	-	損傷があれば、その旨を記載する。
	補修・補強材の損傷	a～e	
	定着部の異常	a～e	
	変色・劣化	-	損傷があれば、その旨を記載する。
	漏水・滞水	-	損傷があれば、その旨を記載する。
	異常な音・振動	-	損傷があれば、その旨を記載する。
	異常なたわみ	-	損傷があれば、その旨を記載する。
	変形・欠損	-	損傷があれば、その旨を記載する。
	土砂詰まり	-	損傷があれば、その旨を記載する。
	沈下・移動・傾斜	a～e	
	洗掘	a～e	

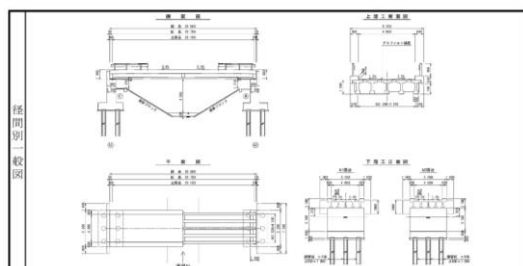
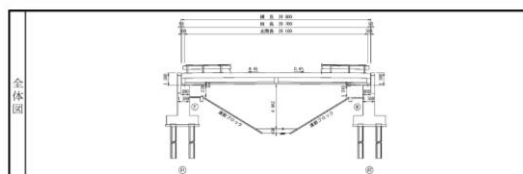
【点検方法】

近接目視により行うことを基本とし、必要に応じて触診や打音等の非破壊検査等を併用して行うこととする。

【点検記録】

点検結果は、点検調書として記録され、計画の策定・修正や補修設計を実施する際の資料等として活用する。

橋梁諸元と総合検査結果									
橋梁名		不動橋		路線名		町道5102号		茨城県	
所在地		自 福都郡阿見町端 至 福都郡阿見町飯倉		距離		自 0 km 至 1.0 km		管轄 阿見町 阿見町	
供用開始日		1993年		活荷重・等級		TL-14・2等橋		適用方書番 道路橋示方書H2	
橋長		20.8 m		総径間数		1 径間		上部構造形式	
上部構造形式		PCプレテンT桁橋		下部構造形式		逆T式橋台		基礎形式 鋼管杭	
交通条件		調査年 不明		大型車混入率		0%			
交通量		-		(昼間12時間)		荷重制限			
概員	全幅員	5.2 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車軌	車道幅・車軌	歩道幅	地覆幅	中央帯
	有効幅員	4 m	0.6 m	0 m	4m 1	0m 0	0 m	0.6 m	0 m
海岸からの距離		33,000 km	緊急輸送路の指定		指定なし		優先確保ルートの指定		
路上条件		河川:清見川							



橋梁管理番号		種別		調査年		上部工構造形式		
08443150050		不動橋		2018年		PCプレテンT桁橋		
調査結果		区間番号		1				
		鋼材の損傷		コンクリート部材の損傷		その他		
		腐食	破断	その他	ひびわれ	剥離・鉄筋露出	その他	
損傷の項目等					パターン		写真番号	
						その他の損傷		
						備考		
主桁	01				a	-	a a	
	02				a	-	a a	
	03				a	-	a a	
	04				a	-	a a	
	05				a	-	a a	
横桁	01				a	-	a a	
	02				a	-	a a	
	03				a	-	a a	
床版	01					a	d	5.6
	02					a	a	
	03					a	a	
	04					a	d	7.8
下部工	01				b	①	a a	9~11
	02				a	-	a a	13
	101	-	-	-	a	-	a a	
	102	-	-	-	a	-	a a	
	103	-	-	-	a	-	a a	
	104	-	-	-	a	-	a a	
	105	-	-	-	a	-	a a	
	201	-	-	-	a	-	a a	
	202	-	-	-	a	-	a a	
	203	-	-	-	a	-	a a	
支保	204	-	-	-	a	-	a a	
	205	-	-	-	a	-	a a	
	舗装				-	-	e	35~39
地盤	01				a	-	d a	26,27
	02				a	-	d a	28,29
伸縮装置	01	b	a	a	a	-	a	30~32
	02	b	a	a	a	-	a	33,34
防凍機	01	b	a	a	a	-	a	17~20

[illegible]

損傷写真台帳					
橋梁管理番号	08443150050	橋梁名	不動橋	路線名	町道5102号
				写真番号	7
				経開番号	1
				部材名称	床版
				部材番号	04
				損傷発生位置	支間1/4部
				× 〇	
				部材位置: 床版 04	
				損傷名称: 漏水・道礫石灰	
				判定区分: d	
				床版下面に道礫石灰がみられる 全景	
				写真番号	9
				経開番号	1
				部材名称	下部工
				部材番号	01
				損傷発生位置	下流側
				× 〇	
				部材位置: 下部工 01	
				損傷名称: ひびわれ	
				判定区分: b①	
				ひびわれがみられる W=0.15mm L=0.6m 全景	

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

阿見町が管理する橋梁の中で、架設後30年以上経過する橋梁が全体の約87 %を占めているため、近い将来、一斉に架替時期を迎えることが予想される。したがって、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100年間とすることを目標とし、修繕及び架け替えに要するコストを縮減する。

阿見町では、今回の計画対象橋梁73橋において、下記の方法で計画する。

【集約化・撤去】

・橋梁の集約化・撤去に取り組むことで、対象橋梁の更新及び定期点検にかかる費用として、今後10年間で1.8億円程度のコスト縮減を目標とする。

【費用縮減】

・橋長が短く構造の簡単な橋梁については直営点検を実施し、点検にかかる委託費用の縮減を図ることを目標とする。

【新技術の活用】

従来技術と新技術の比較検討を行い、有用な技術は積極的に活用することで、業務の効率化・高度化を推進するとともに、安全性の向上やコスト削減を目標とする。

〈 解説 〉

● 計画策定

【計画策定支援システム】

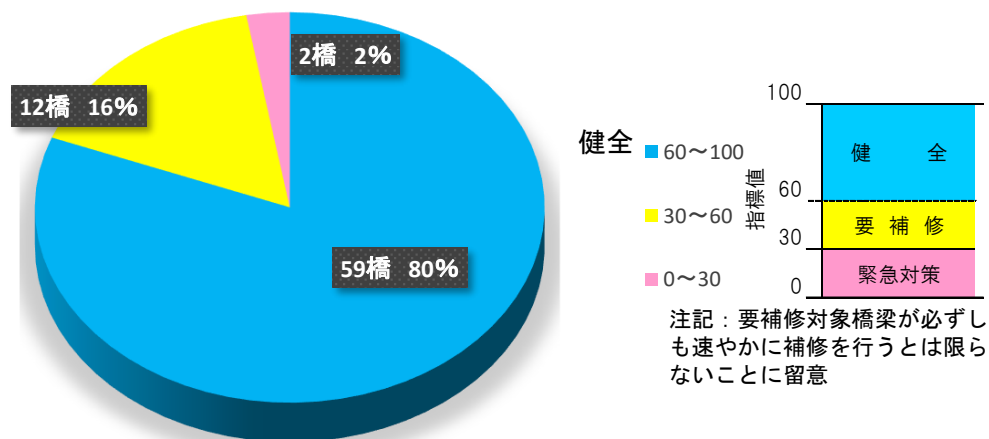
計画の策定に当たっては、支援ソフトを用いて、劣化予測から予算シミュレーション等の分析を実施する。このシステムは「橋梁点検の手引書 平成27年6月」の点検項目に準拠している。



【健全度の評価方法】

橋梁の健全度の評価は、※「国土技術政策総合研究所資料 第488号」による、道路橋の総合評価指標で評価した。今回の橋梁点検による健全度の評価は、対象橋梁において80 % (59橋) の健全性が保たれているが、要補修が12橋(16 %)、となり補修計画が必要である。なお緊急対策が必要な橋梁は2橋(2 %)であった。

総合評価指標(耐荷性)



【要求性能】

- ・ 耐荷性 : 走行荷重（重量荷重）に対する安全性のため、主桁に影響度を重く分配する。
- ・ 災害抵抗性 : 地震時や洪水の荷重に対する安全性のため、支承及び下部工基礎に影響度を重く分配する。耐震補強を視野に入れた計画となる。
- ・ 走行安全性 : 通常の車両の走行に対する安全性のため、路面に影響度を重く分配する。前後の町道との舗装打ち替え等と同時期に補修することによりコスト縮減が図れる。

以上のことを踏まえ耐荷性を重要と位置づけ、重み係数を採用した。

【補修計画が必要となる橋梁（例）】



※国土技術政策総合研究所（以下、国総研という）

【総合評価値の考え方】

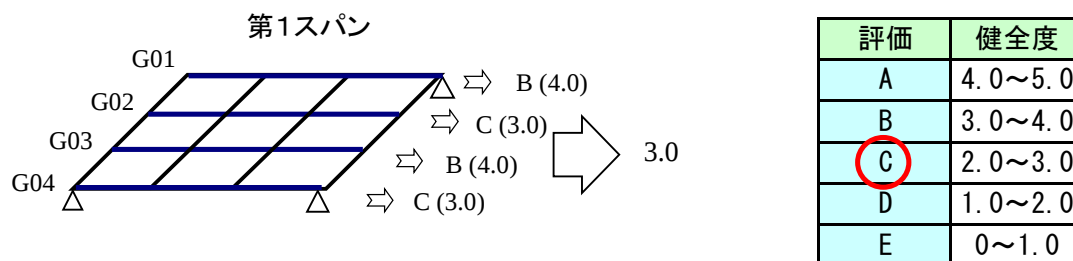
Step 1 各部材の点検結果から各部材の健全度を決定。

鋼橋-コン床版							
コン橋-主桁・横桁							
No.	ひびわれ	剥離・鉄筋露出	漏水・遮断石灰	定着部の異常	-	-	健全度
1	a	a	a	a	-	-	A
2	a	a	a	b	-	-	A
3	a	a	a	c	-	-	C
4	a	a	a	d	-	-	E
5	a	a	a	e	-	-	E
6	a	a	b	a	-	-	A
7	a	a	b	b	-	-	A
8	a	a	b	c	-	-	C
9	a	a	b	d	-	-	E
10	a	a	b	e	-	-	E
11	a	a	c	a	-	-	B
12	a	a	c	b	-	-	B
13	a	a	c	c	-	-	C
14	a	a	c	d	-	-	E
15	a	a	c	e	-	-	E

G02桁, G04桁

G01桁, G03桁

Step2 点検から得られた部材番号レベルの健全度より径間単位での健全度を算出。

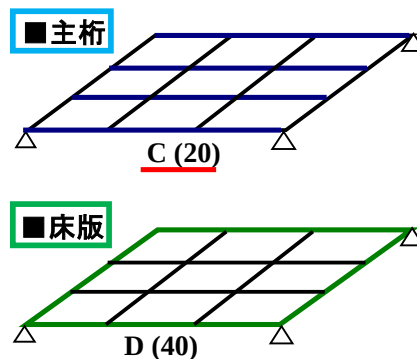


各部材の部材番号が複数存在する場合、最悪値を用いる。
上記の場合「3.0」となるので「C」評価となる。

Step3 径間ごとに設定した評価をもとに評点化。

健全度	評点
A	0
B	10
C	<u>20</u>
D	40
E	80

※国総研より



■下部工 : A (0)

■支 承 : A (0)

Step4 重み係数をもとに損傷度評価値を算出。

部材	重み係数
	耐荷性
上部工	1.0
床版	0.6
下部工	0.2
支承	0.2
路面	—

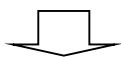
※国総研より

	主桁
	床版
	下部工
	支承

$$\text{耐 荷 性} = 20 \times 1.0 + 40 \times 0.6 + 0 \times 0.2 + 0 \times 0.2 = 44$$

Step5 スパンごとに算出された損傷度評価値から橋梁全体の損傷度評価値を算出。
各スパンの最大値を橋梁全体の値とする。

値 スパン	損傷度評価	耐荷性
1		44
2		34
3		24

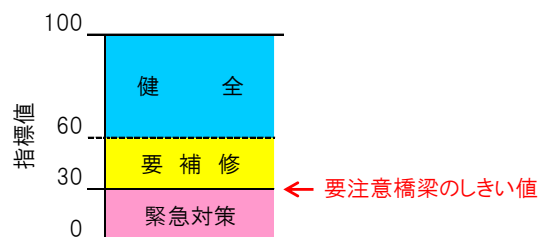


橋梁全体損傷度評価値	耐荷性
	44

Step6 Step4で算出した橋梁全体の損傷度評価値より、総合評価値を算出。
総合評価値は100から損傷度評価値を引いて算出。

総合評価値 (100-損傷度評価値)	耐荷性
	56

文献 1) より、総合評価指標値の持つ意味合いは下記のとおりである。



注記：要補修対象橋梁が必ずしも速やかに補修を行うとは限らないことに留意

【諸元重要度の検討】

諸元項目ごとに重み係数を設定し、各諸元項目の評価項目ごとに評点を設定し、加重平均をとることにより、諸元項目を考慮した重要度を100点満点で算出し順位付けを行う。

諸元項目の重み設定および評価項目の評点設定を以下に示す。

■項目設定

橋梁諸元	重み係数
交差状況	0.30
路線種別	0.25
橋長	0.20
道路示方書	0.20
迂回路の有無	0.05

■各項目の評点設定例

交差状況	評点
緊急輸送路	100
道路	80
河川	20
開水路	20
湖沼	20
海岸	20

路線種別	評点
一般国道	100
一般都道府県道	100
主要地方道	100
市町村道 1級	90
市町村道 2級	80
市町村道 その他	50

橋長	評点
100 m以上	100
50 m以上 100 m未満	70
15 m 以上 50 m未満	35
15 m未満	0

適用示方書	評点
大正15年	100
昭和14年	90
昭和31年	80
昭和39年	70
昭和47年	60
昭和53年	50
昭和55年	40
平成2年	30
平成6年	20
平成7年	20
平成8年	10
平成14年	10
平成24年	10
平成29年	0

迂回路の有無	評点
無し	20
有り	0

■計算例 上記設定例における計算例を下表に示す。

橋梁諸元	重み係数	評価項目	評点	重み係数×評点
交差状況	0.30	道路	80	24.00
路線種別	0.25	市町村道 1級	90	22.50
橋長	0.20	15 m以上 50 m未満	35	7.00
道路示方書	0.20	昭和55年	40	8.00
迂回路の有無	0.05	有り	0	0.00
諸元重要度 合計				61.50

【優先度評価方法】

対象の優先度評価は、構造物の健全度を指標とする事を基本とし、かつ路線種別や立地条件、利用者・周辺住民に対する影響度を評価した重要度（重要性・危険性・耐久性・効率性）を考慮した総合的な評価により行う。

重要度が高い ←

		諸元重要度		
		100～60	60～30	30～0
健全度が低い ↑	0～30	1	3	6
	30～60	2	5	8
	60～100	4	7	9

左表に示すように、それぞれ3つの区分に分類し、9つのカテゴリに分類する。各カテゴリにランクを1～9の間で設定し、ランクが上位であるほど優先度が高く評価される。

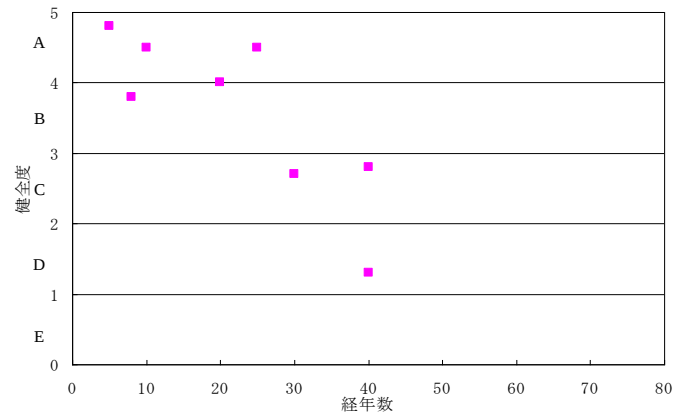
同ランク内に、複数の橋梁が存在する場合は、諸元重要度を総合評価値で除した値の降順で優先順位を決定する。

【劣化曲線の検討】

回帰分析による劣化曲線の設定

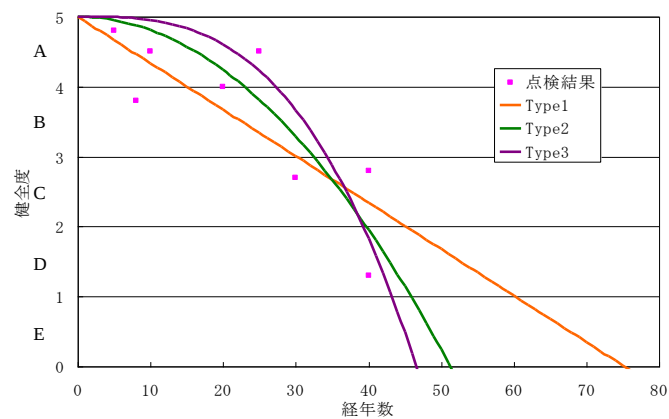
「橋梁点検の手引書」に基づいた点検結果から、各部材の劣化曲線を設定する。回帰分析における各部材の劣化曲線パラメタの決定は以下の手順で行う。

【Step 1】点検結果より健全度をプロット



※健全度プロットの際に、部材番号が複数ある部材は、最悪値をプロットする。

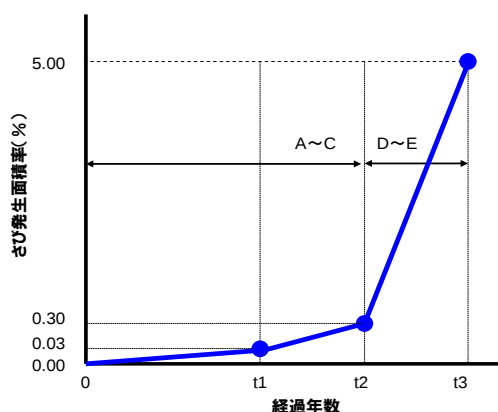
【Step 2】以下に示す3つの曲線で回帰分析を行う



【Step 3】Step 2の結果から相関の高い曲線を劣化曲線とする

(1) 鋼橋—上部工鋼部材

阿見町の管理橋梁では鋼橋（塗装仕様）が4橋と少なく、部材数も少ないため、文献2）を参考に鋼部材の予測モデルを下図のように設定する。



文献2）の塗装仕様ごとの t_1 , t_2 , t_3 を下表に示す。

文献2）国総研資料 道路橋の計画的管理に関する調査研究

塗装仕様	塩害地域以外				塩害地域			
	t_1	t_2	t_3	t_3-t_2	t_1	t_2	t_3	t_3-t_2
A, B塗装系	8	15	21	6	—	—	—	—
C塗装系	27	50	68	18	16	30	41	11

上記の表をもとに、健全度A～Eを以下のように設定する。

■ 塗装仕様（塩害地域以外）

塗装種別	防食機能耐用年数			鋼材腐食速度	
	A	B	C	D	E
A, B塗装系	5	5	5	3	3
C塗装系	17	17	16	9	9

以下にA塗装系の補足説明を示す

1971 年～ 1979 年 塗装便覧

A-1：鉛丹さび止めペイント＋長油性フタル酸樹脂塗料

A-3：鉛系さび止めペイント＋長油性フタル酸樹脂塗料

A-5：ジンクリッチペイント＋フェノール樹脂系さび止めペイント＋長油性フタル酸樹脂塗料

1979 年～ 1993 年 塗装便覧

A-1：鉛丹さび止めペイント＋長油性フタル酸樹脂塗料

A-2：鉛系さび止めペイント＋長油性フタル酸樹脂塗料

A-3：鉛系さび止めペイント＋フェノール MIO 塗料＋長油性フタル酸樹脂塗料

1993 年～ 2005 年 塗装便覧

A-1：鉛系さび止めペイント＋長油性フタル酸樹脂塗料

A-3：鉛系さび止めペイント＋フェノール MIO 塗料＋シリコンアルキド樹脂塗料

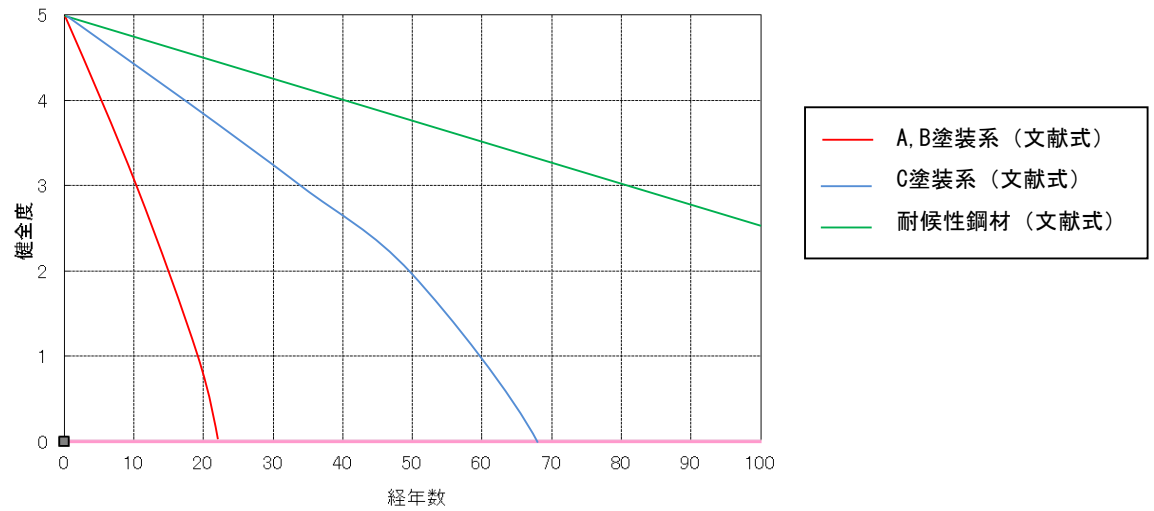
2005 年～ 防食便覧

A-5：鉛・クロムフリー系さび止めペイント＋長油性フタル酸樹脂塗料

阿見町の管理橋梁では耐候性鋼材（裸仕様）の鋼橋が3橋あり、文献3）を参考に健全度A～Eを以下のように設定した。

文献3）鋼橋のライフサイクルコスト （社）日本橋梁建設協会 2011

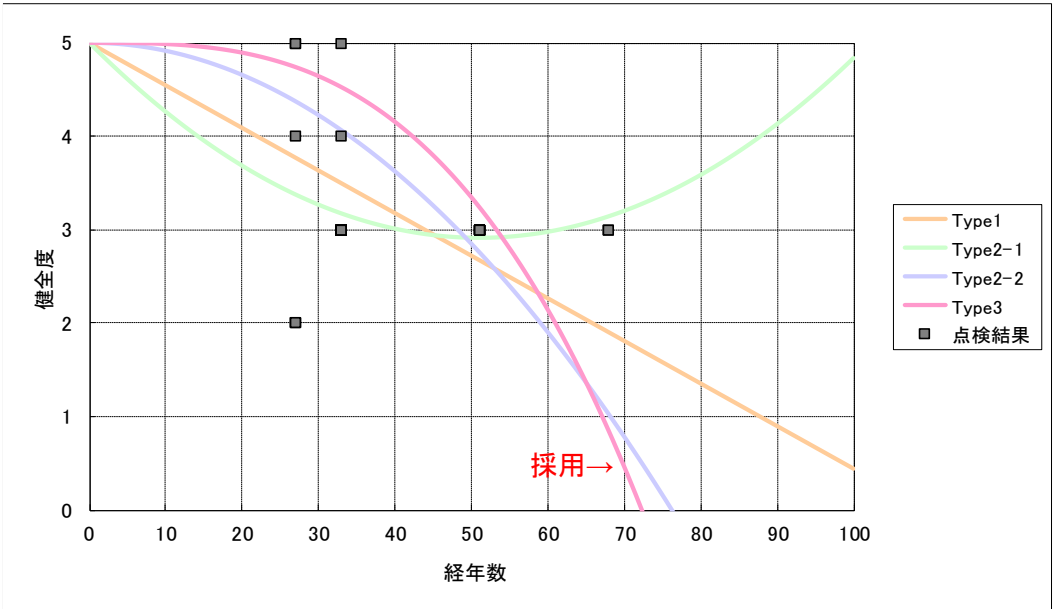
一般環境（山間部）における耐久年数200年



ここで、滞留年数とは、各健全度（Aの場合は5.0～4.0）に留まる年数を表す。

(2) 鋼橋－コン床版

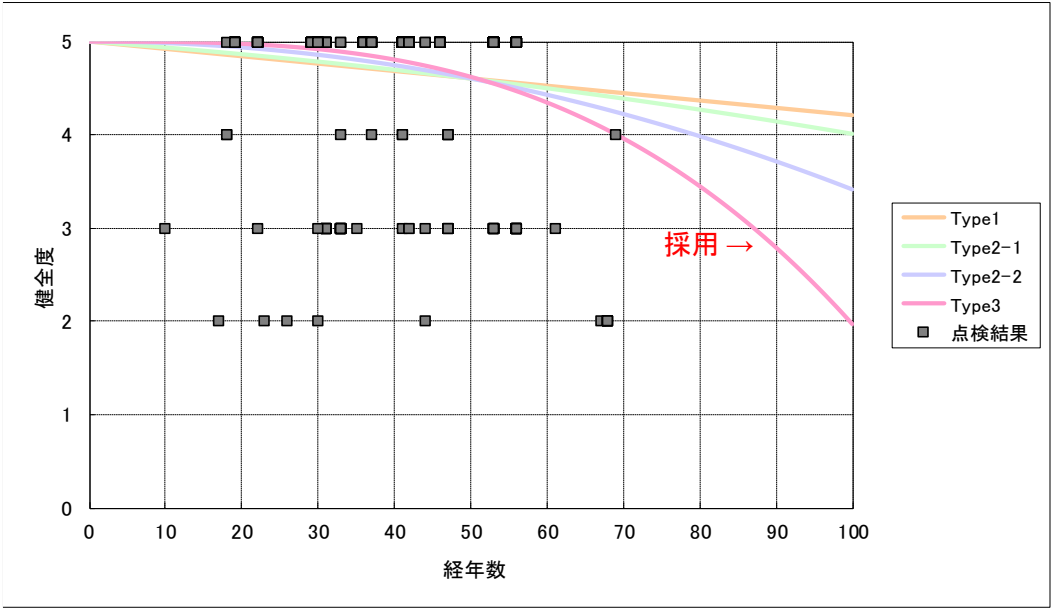
回帰分析結果	部材分類	鋼橋－コン床版－[中性化]
	グループ	



回帰式	係数		決定係数 R2	滞留年数					選択
	a	b		A	B	C	D	E	
Type1 (y=at+5)	-0.045591	-	0.2987892	21	22	22	22	22	
Type2-1 (y=at2+bt+5)	0.000802	-0.081830	0.0457332	14	26	26	26	26	
Type2-2 (y=at2+5)	-0.000861	-	0.4333569	34	14	11	9	8	
Type3 (y=at3+5)	-0.000013	-	0.4602205	42	11	7	7	5	○

(3) コンクリート橋－主桁（中性化）

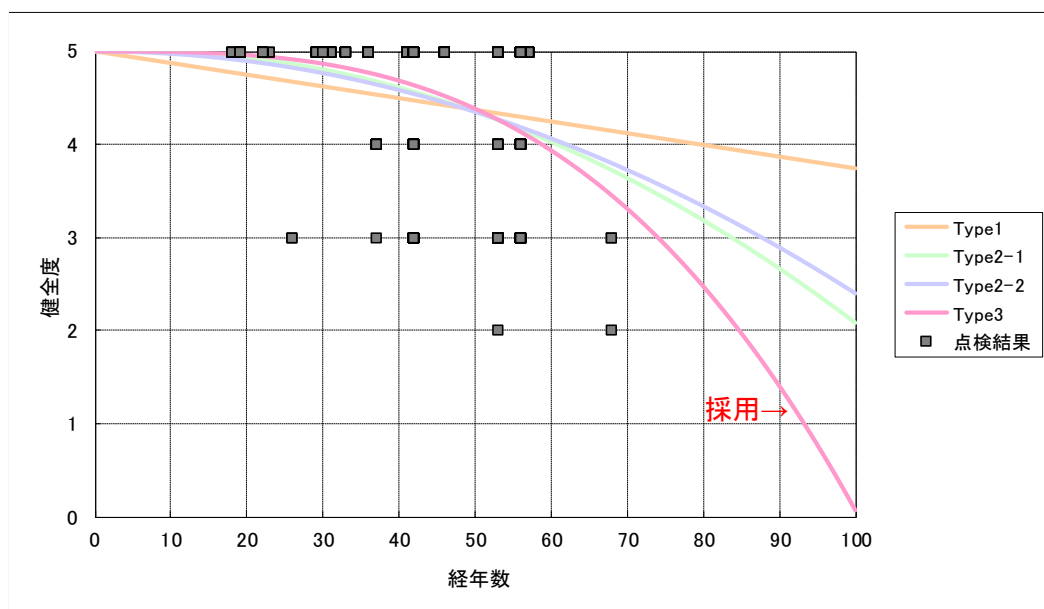
回帰分析結果	部材分類	コン橋－主桁－[中性化]
	グループ	



回帰式	係数		決定係数 R2	滞留年数					選択
	a	b		A	B	C	D	E	
Type1 (y=at+5)	-0.007903	-	0.0120757	100	100	100	100	100	
Type2-1 (y=at2+bt+5)	-0.000039	-0.006028	0.0166236	100	62	49	41	37	
Type2-2 (y=at2+5)	-0.000159	-	0.0352473	79	33	25	21	19	
Type3 (y=at3+5)	-0.000003	-	0.0602500	69	18	12	10	9	○

(4) コンクリート橋－床版（中性化）

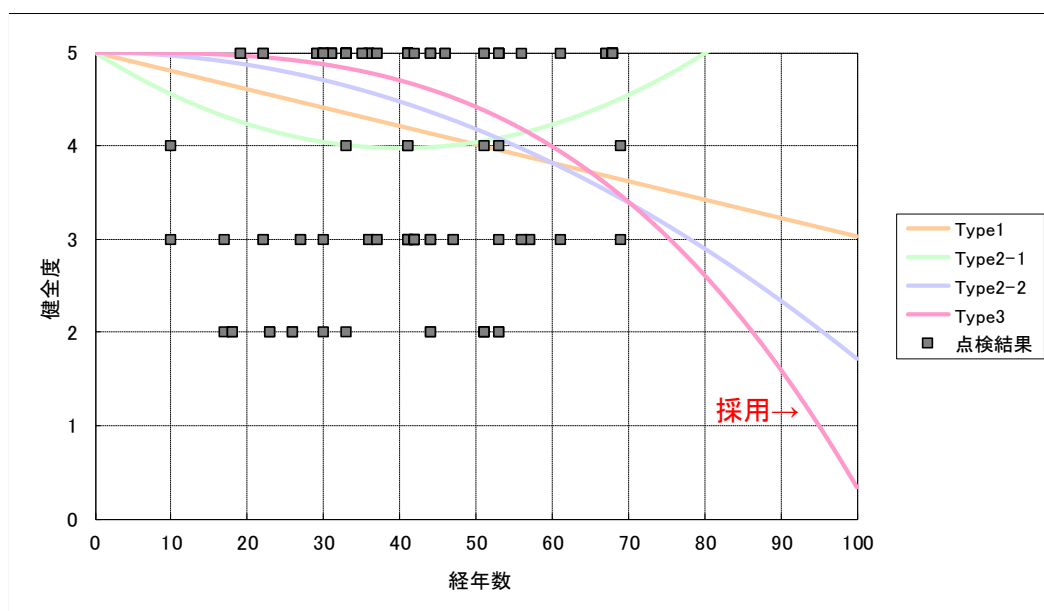
回帰分析結果	部材分類 グループ	コン橋－床版－[中性化]
--------	--------------	--------------



回帰式	係数		決定係数 R2	滞留年数					選択
	a	b		A	B	C	D	E	
Type1 (y=at+5)	-0.012572	-	0.0323894	79	80	79	80	79	
Type2-1 (y=at2+bt+5)	-0.000324	0.003221	0.1067435	60	23	18	15	13	
Type2-2 (y=at2+5)	-0.000260	-	0.0900548	62	25	20	17	14	
Type3 (y=at3+5)	-0.000005	-	0.1386321	58	16	10	9	7	○

(5) 下部工（RC）

回帰分析結果	部材分類 グループ	共通一下部工（RC）－[中性化]
--------	--------------	------------------



回帰式	係数		決定係数 R2	滞留年数					選択
	a	b		A	B	C	D	E	
Type1 (y=at+5)	-0.019712	-	0.0570085	50	51	51	50	51	
Type2-1 (y=at2+bt+5)	0.000637	-0.051089	0.0192715	33	33	33	33	33	
Type2-2 (y=at2+5)	-0.000328	-	0.1362615	55	23	17	15	13	
Type3 (y=at3+5)	-0.000005	-	0.1893513	59	16	11	9	7	○

- (6) 下部工（鋼）
対象橋梁なし

【定期対策部材の耐用年数の設定】

伸縮装置については、既往の文献より耐用年数を決定する。

- (1) 伸縮装置
文献 2、3)より耐用年数を、鋼製：30年、ゴム：30年と設定する。

【対策工法の検討】

各部材の対策内容

①対策案、対策時期は径間単位、部材単位に設定する。

②各部材に対する対策工法、補修工費は、健全度ごとに代表的な工法および標準的な単価を設定する。

(1) 鋼橋—上部工鋼部材

健全度	工法	単価（千円）		補修範囲	補修割合	単価 参考資料
			工法			
A	—					
	—					
	—					
	—					
B	—					
	—					
	—					
	—					
C	1種ケレン	9.9	塗膜はく離剤	塗装面積	1.00	施工実績
	ふっ素樹脂塗料	5.4	Rc- I 塗装系（赤色）	塗装面積	1.00	施工実績
	足場工	28.4	鋼橋吊足場(h < 1.5)	橋面積	1.00	施工実績
	—					
D	1種ケレン	9.9	塗膜はく離剤	塗装面積	1.00	施工実績
	ふっ素樹脂塗料	5.4	Rc- I 塗装系（赤色）	塗装面積	1.00	文献4)
	あて板補強	264.0		塗装面積	0.01	施工実績
	足場工	28.4	鋼橋吊足場(h < 1.5)	橋面積	1.00	施工実績
E	1種ケレン	9.9	塗膜はく離剤	塗装面積	1.00	施工実績
	ふっ素樹脂塗料	5.4	Rc- I 塗装系（赤色）	塗装面積	1.00	文献4)
	あて板補強	264.0		塗装面積	0.05	施工実績
	足場工	28.4	鋼橋吊足場(h < 1.5)	橋面積	1.00	施工実績

文献4) 「住宅・社会資本の管理運営技術の開発 国総研」

(2) 鋼橋—コンクリート床版

健全度	工法	単価（千円）		補修範囲	補修割合	単価 参考資料
			工法			
A	—					
	—					
	—					
	—					
B	床版防水	7.5	舗装版破碎積込（人力）	橋面積	1.00	施工実績
	—					
	—					
	—					
C	床版防水	7.5	舗装版破碎積込（人力）	橋面積	1.00	施工実績
	ひび割れ注入	1.7	ひび割れ注入	橋面積	1.00	施工実績 ^{※1}
	足場工	7.6	鋼橋吊足場(h < 1.5)	橋面積	1.00	施工実績
	—					
D	床版防水	7.5	舗装版破碎積込（人力）	橋面積	1.00	施工実績
	ひび割れ注入	1.7	ひび割れ注入	橋面積	2.00	施工実績 ^{※1}
	断面修復工	2.3	断面修復工（Co橋）	橋面積	0.30	施工実績
	足場工	7.6	鋼橋吊足場(h < 1.5)	橋面積	1.00	施工実績
E	打替え	119.9		橋面積	1.00	文献4)
	—					
	—					
	—					

※1 施工実績より、ひびわれ密度を0.5m/m²と想定する

(3) コンクリート橋－主桁

健全度	工法	単価（千円）		補修範囲	補修割合	単価 参考資料
			工法			
A	—					
	—					
	—					
	—					
B	ひび割れ注入	1.7	ひび割れ注入	橋面積	0.50	施工実績
	足場工	7.6	鋼橋吊足場(h < 1.5)	橋面積	1.00	施工実績
	—					
	—					
C	表面被覆	7.8	表面被覆 (CC-A)	橋面積	1.00	施工実績
	ひび割れ注入	1.7	ひび割れ注入	橋面積	1.00	施工実績 ^{※1}
	断面修復工	2.3	断面修復工 (Co橋)	橋面積	0.10	施工実績
	足場工	7.6	鋼橋吊足場(h < 1.5)	橋面積	1.00	施工実績
D	表面被覆	7.8	表面被覆 (CC-A)	橋面積	1.00	施工実績
	ひび割れ注入	1.7	ひび割れ注入	橋面積	2.00	施工実績 ^{※1}
	断面修復工	2.3	断面修復工 (Co橋)	橋面積	0.30	施工実績
	足場工	7.6	鋼橋吊足場(h < 1.5)	橋面積	1.00	施工実績
E	表面被覆	7.8	表面被覆 (CC-A)	橋面積	1.00	施工実績
	断面修復工	2.3	断面修復工 (Co橋)	橋面積	1.00	施工実績
	外ケーブル補強	50.0		桁本数	1.00	文献4)
	足場工	7.6	鋼橋吊足場(h < 1.5)	橋面積	1.00	施工実績

(4) コンクリート橋－床版

健全度	工法	単価（千円）		補修範囲	補修割合	単価 参考資料
			工法			
A	—					
	—					
	—					
	—					
B	床版防水	7.5	舗装版破碎積込（人力）	橋面積	1.00	施工実績
	—					
	—					
	—					
C	床版防水	7.5	舗装版破碎積込（人力）	橋面積	1.00	施工実績
	ひび割れ注入	1.7	ひび割れ注入	橋面積	1.00	施工実績 ^{※1}
	足場工	7.6	鋼橋吊足場(h < 1.5)	橋面積	1.00	施工実績
	—					
D	床版防水	7.5	舗装版破碎積込（人力）	橋面積	1.00	施工実績
	ひび割れ注入	1.7	ひび割れ注入	橋面積	2.00	施工実績 ^{※1}
	断面修復工	2.3	断面修復工 (Co橋)	橋面積	0.30	施工実績
	足場工	7.6	鋼橋吊足場(h < 1.5)	橋面積	1.00	施工実績
E	打替え	119.9		橋面積	1.00	文献4)
	—					
	—					
	—					

(5) 下部工 (RC)

健全度	工法	単価 (千円)		補修範囲	補修割合	単価 参考資料
			工法			
A	—					
	—					
	—					
	—					
B	表面被覆	7.8	表面被覆 (CC-A)	橋面積	1.00	施工実績
	—					
	—					
	—					
C	表面被覆	7.8	表面被覆 (CC-A)	橋面積	1.00	施工実績
	ひび割れ注入	0.7	ひび割れ注入	橋面積	1.00	施工実績 ^{※1}
	断面修復工	2.2	断面修復工 (Co橋)	橋面積	0.10	施工実績
	足場工	0.6	足場 (単管足場)	橋面積	1.00	施工実績
D	表面被覆	7.8	表面被覆 (CC-A)	橋面積	1.00	施工実績
	ひび割れ注入	0.7	ひび割れ注入	橋面積	2.00	施工実績 ^{※1}
	断面修復工	2.2	断面修復工 (Co橋)	橋面積	0.30	施工実績
	足場工	0.6	足場 (単管足場)	橋面積	1.00	施工実績
E	洗掘補修工	52.7	張りコンクリート	全幅員	1.00	施工実績

(6) 下部工 (鋼)

健全度	工法	単価 (千円)		補修範囲	補修割合	単価 参考資料
			工法			
A	—					
	—					
	—					
	—					
B	—					
	—					
	—					
	—					
C	1種ケレン	9.9	塗膜はく離剤	塗装面積	1.00	施工実績
	ふっ素樹脂塗料	5.4	Rc- I 塗装系 (赤色)	塗装面積	1.00	施工実績
	足場工	28.4	鋼橋吊足場 (h < 1.5)	橋面積	1.00	施工実績
	—					
D	1種ケレン	9.9	塗膜はく離剤	塗装面積	1.00	施工実績
	ふっ素樹脂塗料	5.4	Rc- I 塗装系 (赤色)	塗装面積	1.00	文献4)
	あて板補強	264.0		塗装面積	0.01	施工実績
	足場工	28.4	鋼橋吊足場 (h < 1.5)	橋面積	1.00	施工実績
E	1種ケレン	9.9	塗膜はく離剤	塗装面積	1.00	施工実績
	ふっ素樹脂塗料	5.4	Rc- I 塗装系 (赤色)	塗装面積	1.00	文献4)
	あて板補強	264.0		塗装面積	0.05	施工実績
	足場工	28.4	鋼橋吊足場 (h < 1.5)	橋面積	1.00	施工実績

(8) 伸縮装置

健全度	工法	単価（千円）		補修範囲	補修割合	単価 参考資料
		工法				
E	取替	205.9	鋼橋普通型(伸縮量20 ～ 70 mm)平均	有効幅員	1.00	施工実績
	—					
	—					
	—					

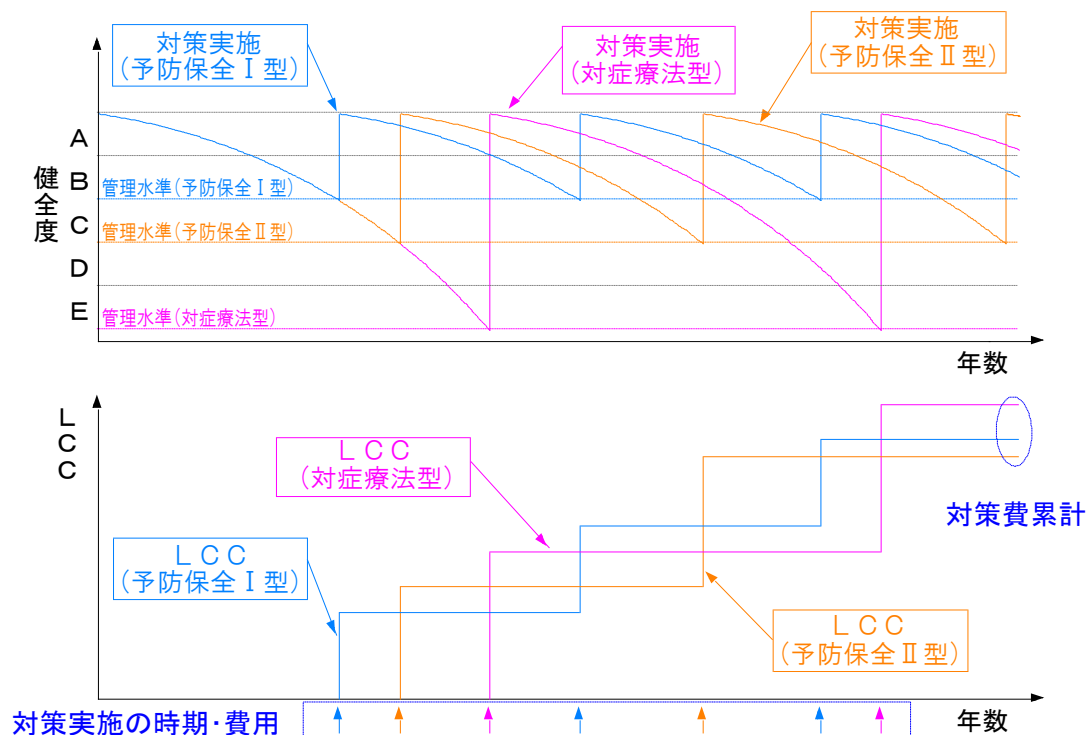
(9) 点検費用の取り扱い

初回点検年から5年周期で、点検費用を計上する。

- ・ 全橋梁 600千円 / 橋 (73橋)

【LCCの算出方法】

あらかじめ対策を実施する管理水準を設定し、対策の種類や対策コスト等の情報に基づきLCCの算定を実施する。



【管理水準の設定メニュー】

予防保全Ⅰ型、予防保全Ⅱ型の管理水準の設定を下表に示す。高速道路を跨ぐ橋梁及び、桁下状況が道路の橋梁においては「予防保全Ⅰ型 管理レベル（B）」、上記以外の橋梁は「予防保全Ⅱ型 管理レベル（C）」で設定する。

		ケース1	ケース2	ケース3
		管理レベル（健全度）		
		予防保全Ⅰ型	予防保全Ⅱ型	対症療法型
鋼橋	上部工（鋼部材）	B	C	E
	コンクリート床版	B	C	E
コンクリート橋	主部材	B	C	E
	床版	B	C	E
共通	下部工（RC）	B	C	E
	下部工（鋼）	B	C	E
	支承	対象外	対象外	対象外
	伸縮装置	E	E	E
	舗装	対象外	対象外	対象外

鋼橋 : 鋼部材の例

①腐食

(1)調査箇所

鋼部材の腐食状況を確認する。

(2)損傷程度の評価区分

確認の結果は、次の区分によるものとする。

評価の目安		区分
損傷の深さ	損傷の面積	
損傷なし		a
錆は表面的であり、著しい板厚減少等は視認できない。	損傷箇所の面積が小さく局部的である。	b
	着目部分の全体に錆が生じている、又は着目部分に拡がりのある発錆箇所が複数ある。	c
鋼材表面に著しい膨張が生じている、又は明らかな板厚減少等が視認できる。	損傷箇所の面積が小さく局部的である。	d
	着目部分の全体に錆が生じている、又は着目部分に拡がりのある発錆箇所が複数ある。	e

損傷区分 c



Cランク対策工法

(損傷も軽微で小規模な補修)

- ・ 1種ケレン (塗膜はく離剤)
- ・ ふっ素樹脂塗料
- ・ 足場工

損傷区分 d



Dランク対策工法

(損傷が進行した補修)

- ・ 1種ケレン (塗膜はく離剤)
- ・ ふっ素樹脂塗料
- ・ あて板補強 (小規模)
- ・ 足場工

損傷区分 e



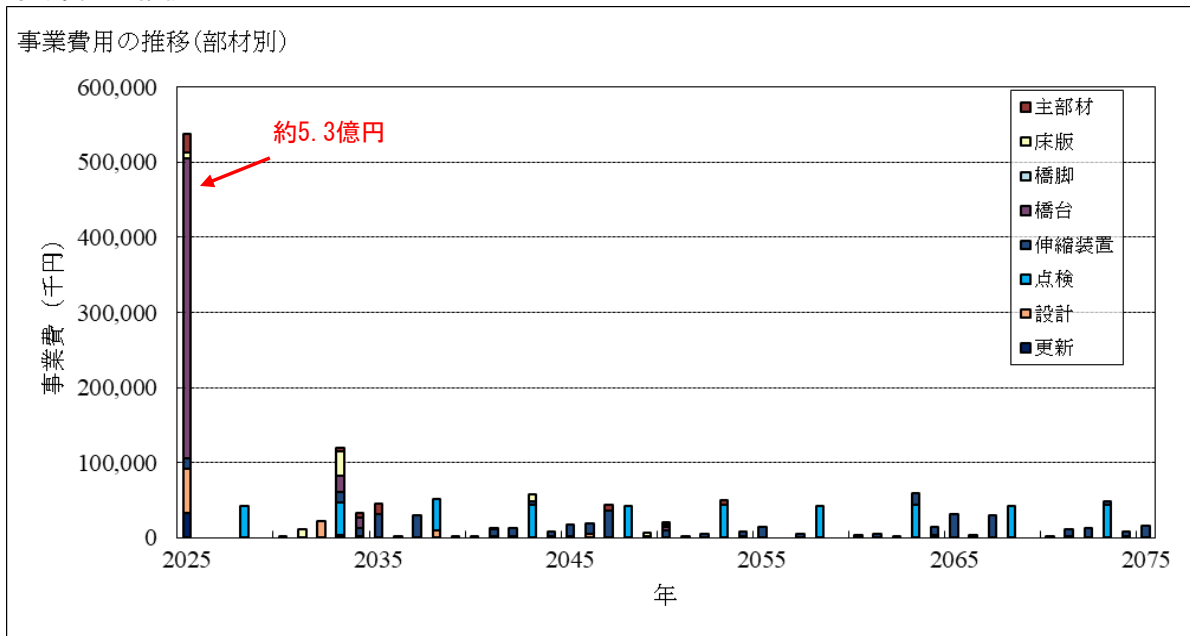
Eランク対策工法

(補強又は架け替えも想定した大規模補修)

- ・ 1種ケレン (塗膜はく離剤)
- ・ ふっ素樹脂塗料
- ・ あて板補強 (大規模)
- ・ 足場工

【シミュレーション結果】【その1】 更新あり制約無し

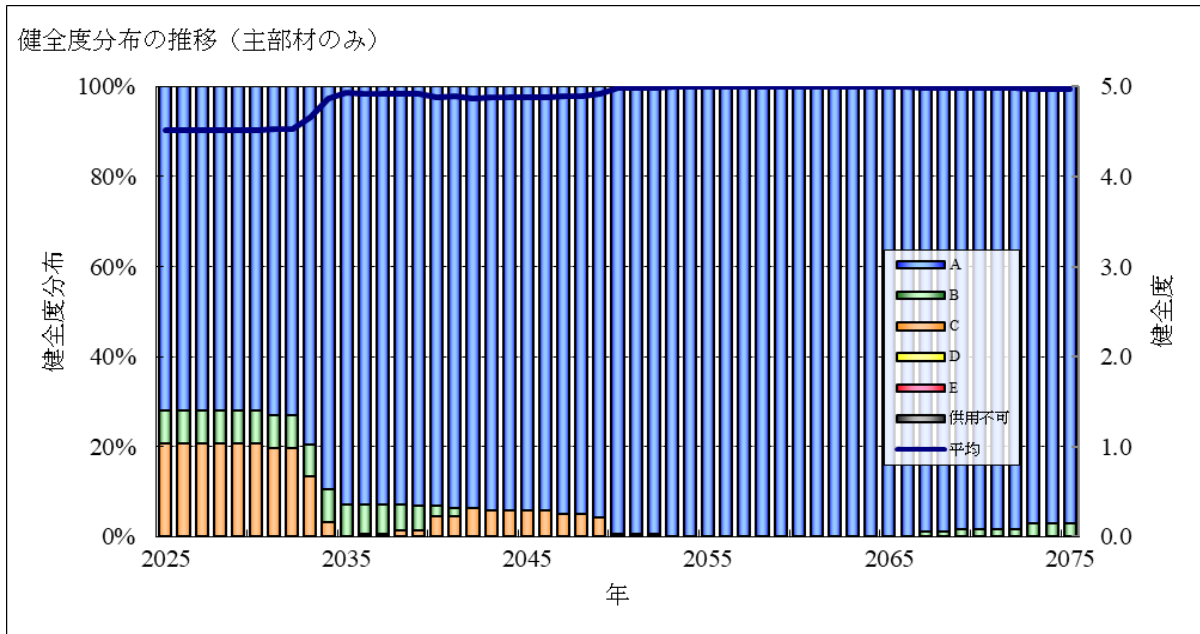
■ 事業費用の推移



【条件】

- ✓ 全ての橋梁を予防保全型 (I、II) として算出。
- ✓ 管理レベルを確保するためには2025年に約5.3億円/年の予算が必要になる。

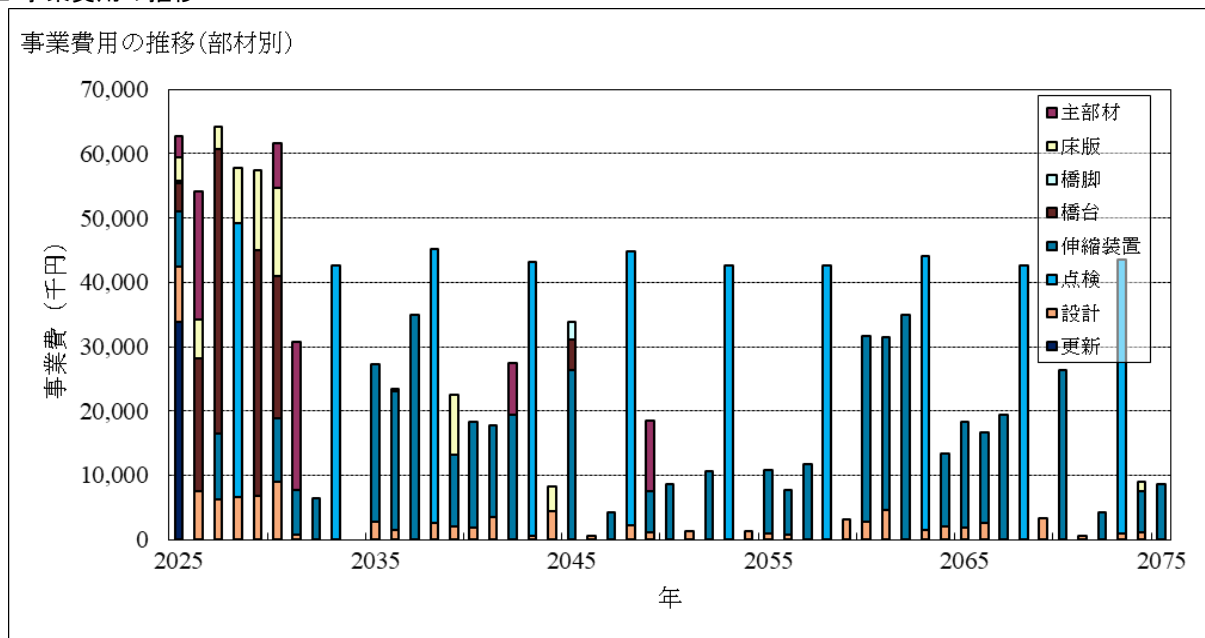
■ 健全度分布の推移



【シミュレーション結果】【その1】 更新あり制約無し

【シミュレーション結果】【その2】 更新あり前回予算0.6億円

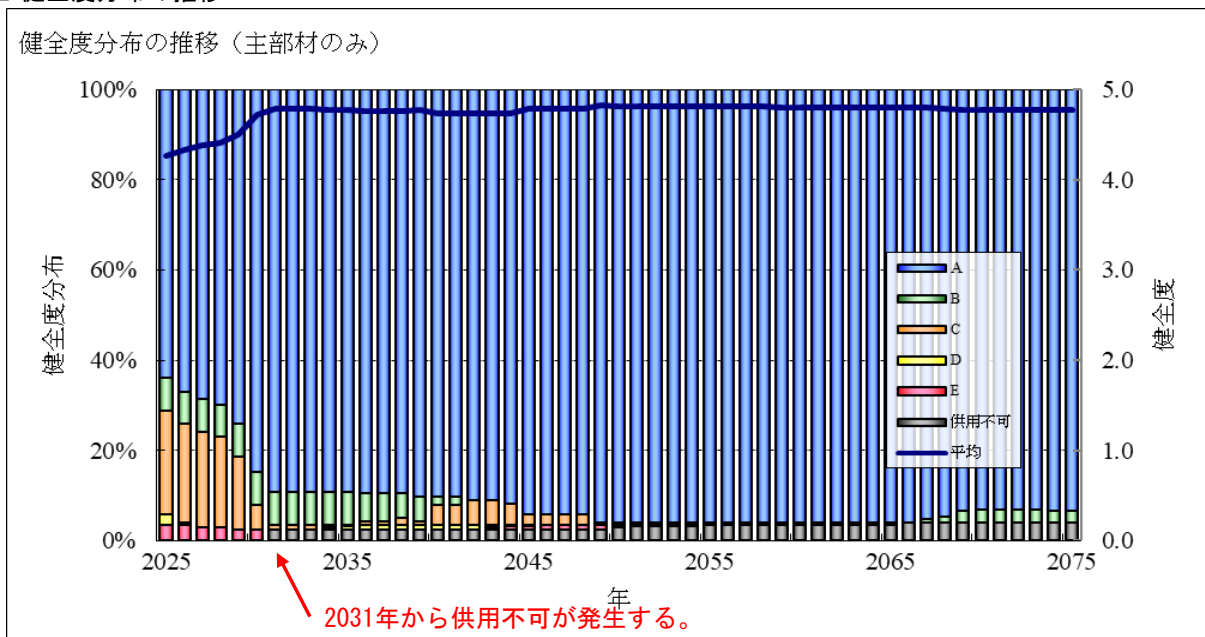
■ 事業費用の推移



【条件】

- ✓ 全ての橋梁を予防保全型（Ⅰ、Ⅱ）として算出。
- ✓ 6006橋、福田上橋（診断Ⅳ）はR6（2025年）に設計費と工事費を計上。
- ✓ 年間の予算は前回計画時と同じく0.6億円/年に設定。

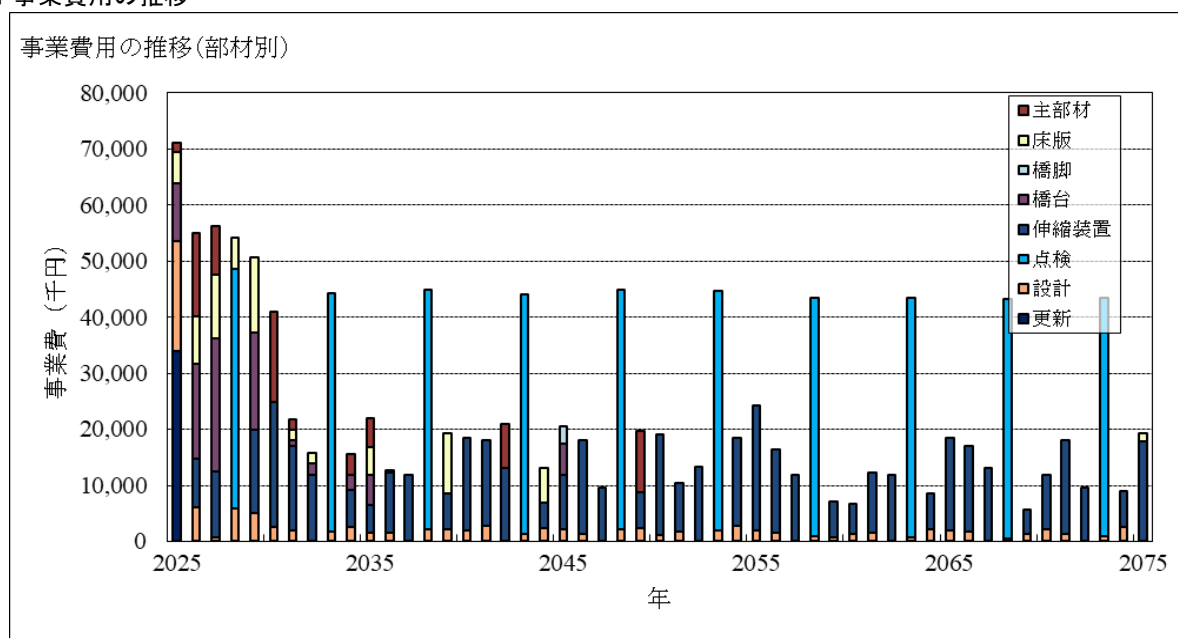
■ 健全度分布の推移



【シミュレーション結果】【その2】 更新あり前回予算0.6億円

【シミュレーション結果】【その3】 更新なし制約0.6億円

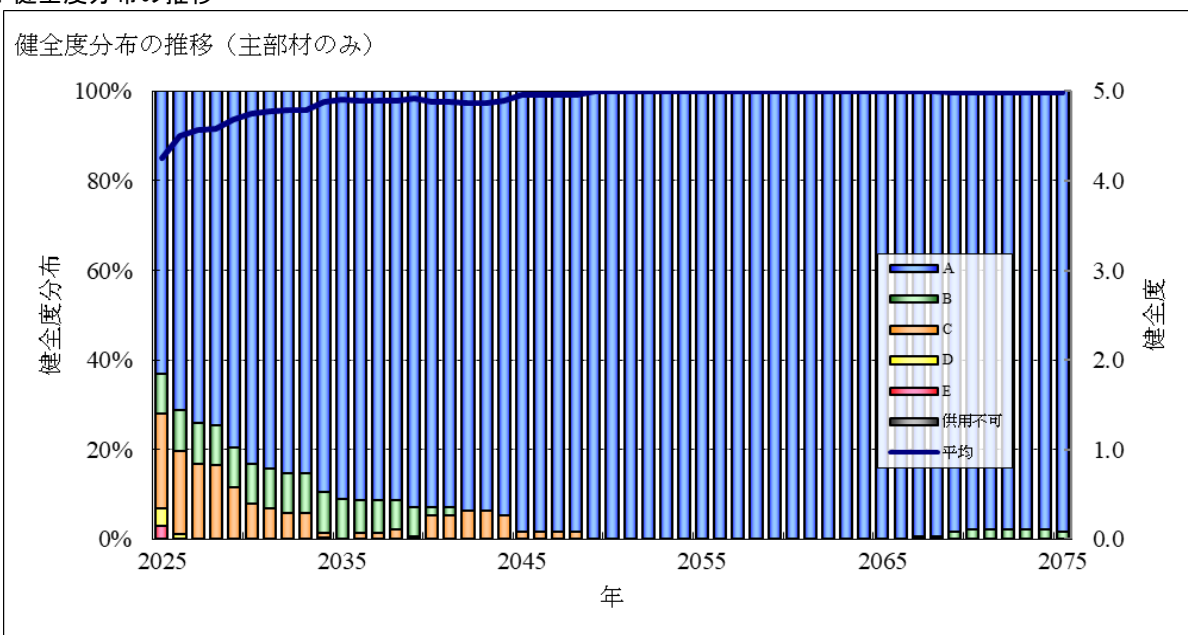
■ 事業費用の推移



【条件】

- ✓全ての橋梁を予防保全型(I、II)として算出。
- ✓6006橋、福田上橋(診断IV)はR7(2025年)に設計費と工事費を計上。
- ✓洗掘により橋台が健全度「E」となった場合の対策工法を変更。
- ✓年間の予算は点検費と設計費及び補修工事費で0.6億円/年に設定。
- ✓1007橋、1013橋、6005橋はR7(2025年)に設計費を計上。
- ✓1014橋、6008橋はR7(2025年)に工事費を計上。

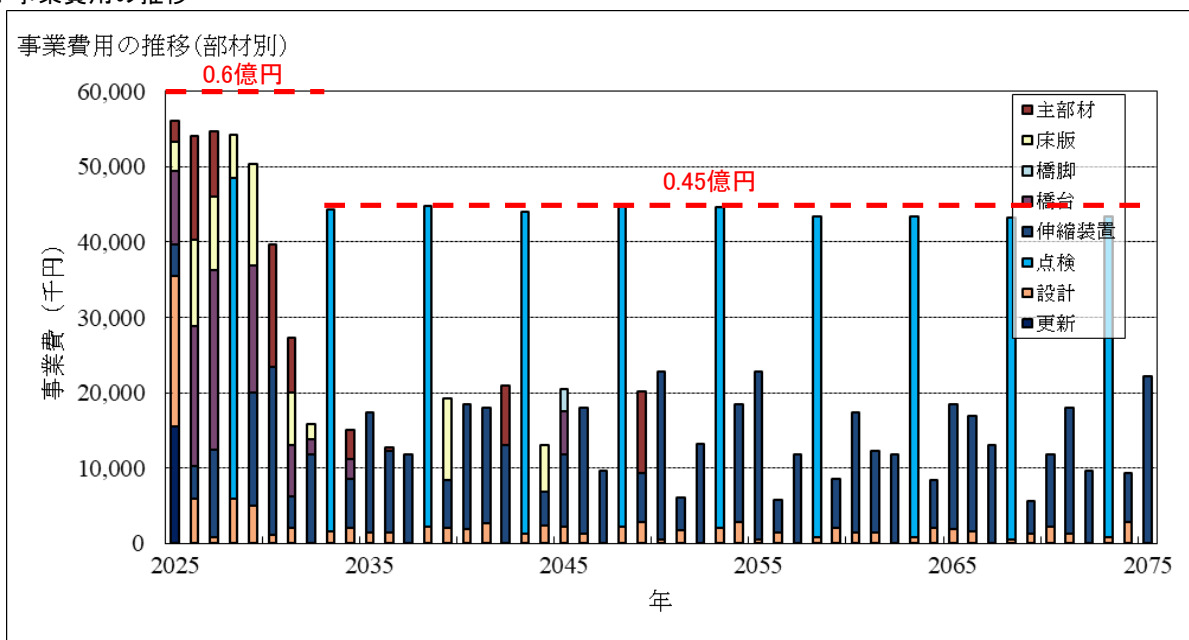
■ 健全度分布の推移



【シミュレーション結果】【その3】 更新なし制約0.6億円

【シミュレーション結果】【その4】 更新なし制約0.6億円(採用案)

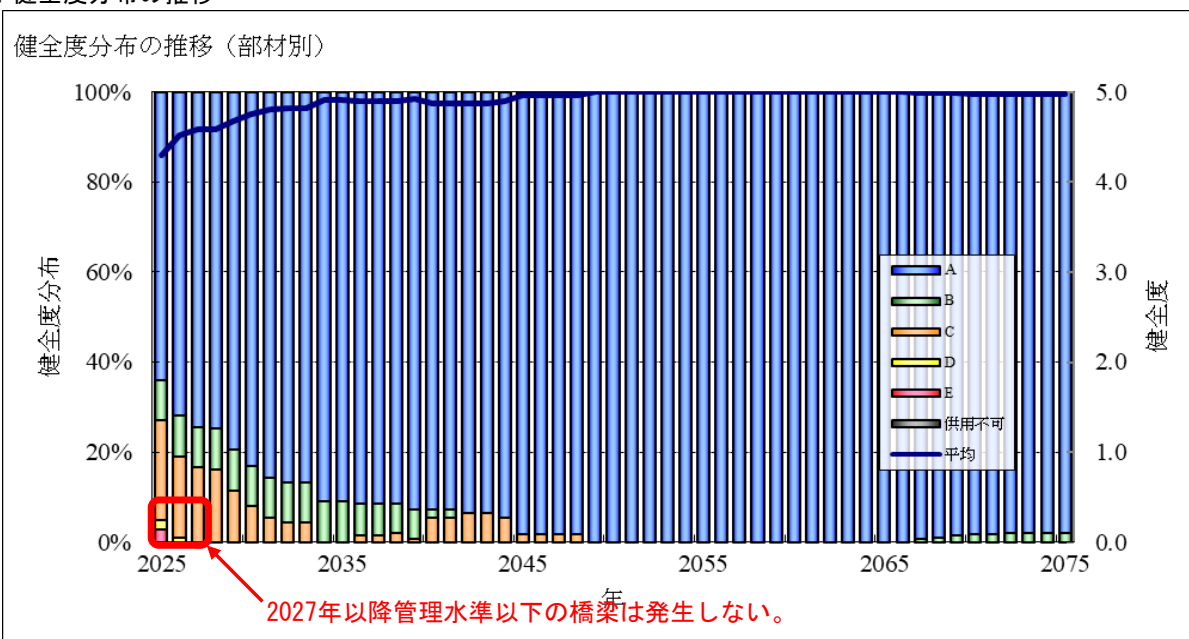
■ 事業費用の推移



【条件】

- ✓ 全ての橋梁を予防保全型(Ⅰ、Ⅱ)として算出。
- ✓ 6006橋、福田上橋(診断Ⅳ)はR7(2025年)に設計費と工事費を計上。
- ✓ 洗掘により橋台が健全度「E」となった場合の対策工法を変更。
- ✓ 年間の予算は点検費と設計費及び補修工事費で0.6億円/年に設定。
- ✓ 1007橋、1013橋、6005橋はR7(2025年)に設計費を計上。
- ✓ 1014橋、6008橋はR7(2025年)に工事費を計上。

■ 健全度分布の推移



シナリオ4の計画開始8年間は「年間0.6億円」、以降は「年間0.45億円」の予算制約にした場合、ある程度健全性が図れた。

この場合、2026年に管理水準を下回る健全度「D」の橋梁は発生しているが、当該橋梁は、前回点検時からの損傷の進行がみられず、局所的であり、水準以下の期間が最大1年間であることから、健全度「D」を許容し、当該期間の橋梁を重点的にパトロールする等、安全性の確保に努める方針とした上で、シナリオ4による計画が妥当であると判断し、採

【様式1-2】

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

凡例：↔ 対策を実施すべき時期を示す。

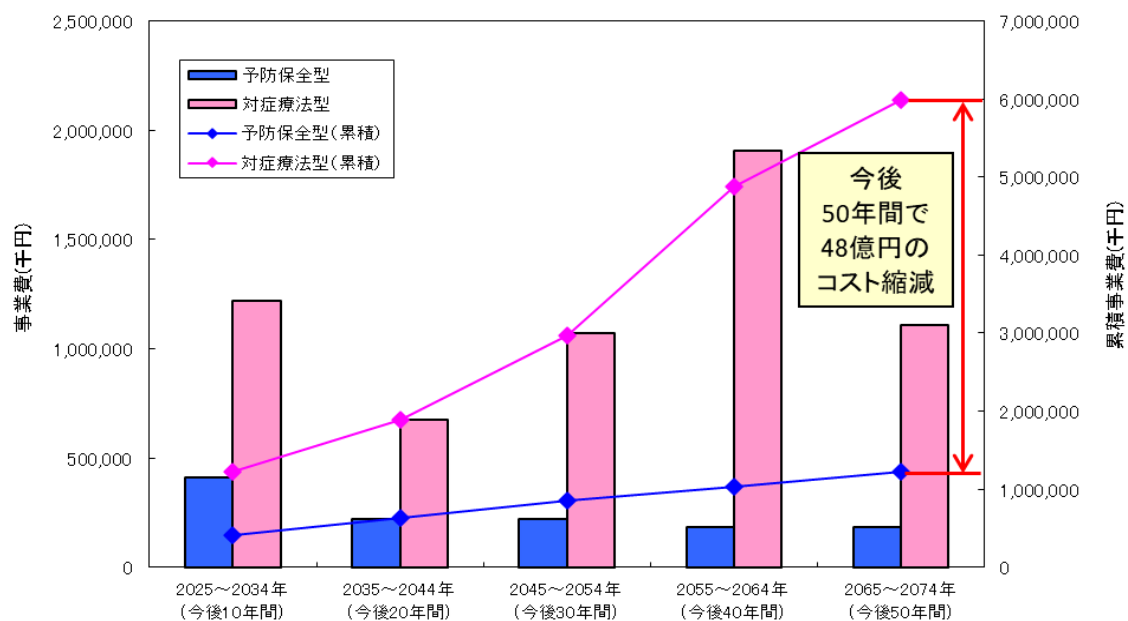
橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	健全 度	対策の内容・時期									
								R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
1010橋	市道	町道1241号線	9.5	1970	55	R5	Ⅱ	設計 伸縮装置：取替（始端側）			点検	設計	↔ 主部材：表面被覆等	表面被覆等		点検	
1014橋	市道	町道0103号線	2.32	1979	46	R5	Ⅱ	橋台：ひび割れ注入等			点検	設計	↔ 主部材：表面被覆等	表面被覆等		点検	
1018橋	市道	町道1568号線	37.3	2005	20	R5	Ⅱ	設計 橋台：表面被覆等			点検	設計	↔ 伸縮装置：取替（始端側）				点検
2013橋	市道	町道0206号線	2.42	1993	32	R5	Ⅱ	設計 主部材：表面被覆等			点検・設計	↔ 橋台：表面被覆等	表面被覆等			点検	
2014橋	市道	町道0102号線	2.3	1990	35	R5	Ⅰ	設計 橋台：表面被覆等			点検	設計	↔ 主部材：表面被覆等	表面被覆等		点検	
6006橋	市道	町道6056号線	10.4	1970	55	R5	Ⅳ	↔ 撤去									
6008橋	市道	町道6070号線	10.5	1967	58	R5	Ⅱ	主部材	断面修復工等		点検					点検	
福田上橋	市道	町道6078号線	5.4	1955	70	R5	Ⅳ	↔ 撤去									
1007橋	市道	町道1089号線	3.4	1976	49	R5	Ⅱ	設計	↔ 主部材：表面被覆		点検					点検	
1013橋	市道	町道1286号線	9.5	1967	58	R5	Ⅱ	設計	↔ 主部材：表面被覆		点検					点検	
1017橋	市道	町道1568号線	10.01	2006	19	R5	Ⅰ	設計	↔ 主部材：表面被覆		点検					点検	
大竹橋	市道	町道0202号線	12	1990	35	R5	Ⅱ	設計	↔ 床版：足場工等		点検					点検	
3007橋	市道	町道3383号線	6.35	1981	44	R5	Ⅱ	設計	↔ 橋台：表面被覆		点検					点検	
6005橋	市道	町道6056号線	10.4	1967	58	R5	Ⅱ	設計	↔ 床版：床版防水工		点検					点検	
6009橋	市道	町道6073号線	10.4	1967	58	R5	Ⅱ	設計	↔ 伸縮装置：取替（始端側）		点検					点検	
6012橋	市道	町道6099号線	10.5	1967	58	R5	Ⅱ	設計	↔ 橋台：洗掘補修工等		点検	設計	↔ 伸縮装置：取替（始端側）			点検	
南平橋	市道	町道4567号線	34.3	1996	29	R5	Ⅰ	設計	↔ 床版：床版防水工		点検					点検	設計
3001橋	市道	町道0104号線	12.5	2000	25	R5	Ⅱ		設計	↔ 伸縮装置：取替（始端側）	点検					点検	
学校橋	市道	町道0112号線	18.9	1986	39	R5	Ⅱ		設計	↔ 橋台：表面被覆	点検					点検	
六反橋	市道	町道5129号線	24.3	1990	35	R5	Ⅱ		設計	↔ 床版：足場工等	点検					点検	
権現橋	市道	町道4380号線	24.3	1990	35	R5	Ⅱ			設計	↔ 床版：床版防水	点検				点検	
実穀下橋	市道	町道1268号線	11.3	1987	38	R5	Ⅰ				点検・設計	↔ 橋台：表面被覆等	表面被覆等		点検		
2003橋	市道	町道2233号線	2.86	1982	43	R5	Ⅰ				点検・設計	↔ 橋台：表面被覆	表面被覆		点検		
どうめき橋	市道	町道2274号線	6.35	1966	59	R5	Ⅰ				点検・設計	↔ 伸縮装置：取替（始端側）	伸縮装置：取替（始端側）		点検		
2016橋	市道	町道2244号線	2.32	1982	43	R5	Ⅰ				点検・設計	↔ 橋台：表面被覆	表面被覆		点検		
3005橋	市道	町道3134号線	2.3	1954	71	R5	Ⅰ				点検・設計	↔ 橋台：表面被覆	表面被覆		点検		
島田橋	市道	町道0207号線	8.5	1981	44	R5	Ⅱ				点検・設計	↔ 橋台：表面被覆	表面被覆		点検		
6016橋	市道	町道6265号線	8.5	1981	44	R5	Ⅱ				点検・設計	↔ 橋台：表面被覆	表面被覆		点検		
根崎橋	市道	町道2543号線	38.2	1972	53	R5	Ⅱ				点検・設計	↔ 伸縮装置：取替（始端側）	伸縮装置：取替（始端側）		点検		
2007橋	市道	町道2267号線	2.32	1990	35	R5	Ⅰ				点検	設計	↔ 主部材：表面被覆等	表面被覆等	点検		
2009橋	市道	町道0111号線	2.32	1988	37	R5	Ⅰ				点検	設計	↔ 主部材：表面被覆等	表面被覆等	点検		
2010橋	市道	町道2218号線	5.5	1992	33	R5	Ⅰ				点検	設計	↔ 主部材：表面被覆等	表面被覆等	点検		
2011橋	市道	町道2218号線	5.5	1990	35	R5	Ⅰ				点検	設計	↔ 主部材：表面被覆等	表面被覆等	点検		
2012橋	市道	町道2411号線	5.5	1990	35	R5	Ⅰ				点検	設計	↔ 主部材：表面被覆等	表面被覆等	点検		
2018橋	市道	町道2214号線	5.5	1992	33	R5	Ⅱ				点検	設計	↔ 主部材：表面被覆等	表面被覆等	点検		
上条橋	市道	町道0106号線	21.1	1993	32	R5	Ⅱ				点検	設計	↔ 主部材：表面被覆等	表面被覆等	点検		
白鷺橋	市道	町道3062号線	12.5	2004	21	R5	Ⅰ				点検	設計	↔ 伸縮装置：取替（始端側）	伸縮装置：取替（始端側）	点検		
1009橋	市道	町道1118号線	9.5	1970	55	R5	Ⅰ				点検		設計	↔ 伸縮装置：取替（始端側）	伸縮装置：取替（始端側）	点検	
3008橋	市道	町道3416号線	7.4	1981	44	R5	Ⅰ				点検		設計	↔ 主部材：表面被覆	主部材：表面被覆	点検	設計
高根橋	市道	町道6256号線	8.5	1981	44	R5	Ⅱ				点検		設計	↔ 伸縮装置：取替（始端側）	伸縮装置：取替（始端側）	点検	

橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	健全 度	対策の内容・時期									
								R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
6015橋	市道	町道6296号線	9.4	1977	48	R5	I				点検			設計	伸縮装置:取替(始端側)	点検	
1002橋	市道	町道0212号線	9.5	1970	55	R5	II				点検				伸縮装置:取替(始端側)		
1004橋	市道	町道1059号線	2.39	2013	12	R5	I				点検					点検・設計 主部材:表面被覆	
2006橋	市道	町道2234号線	2.86	1982	43	R5	I				点検					点検・設計 主部材:表面被覆	
3009橋	市道	町道3436号線	2.45	1962	63	R5	I				点検					点検・設計 主部材:表面被覆	
6004橋	市道	町道6025号線	2.32	2001	24	R5	II				点検					点検・設計 主部材:表面被覆	
6011橋	市道	町道6080号線	10.5	1967	58	R5	II				点検					点検・設計 主部材:表面被覆	
1001橋	市道	町道0103号線	2.3	1979	46	R5	II				点検					点検	
1006橋	市道	町道1068号線	2.3	1979	46	R5	I				点検					点検	
道祖神橋	市道	町道1104号線	11.41	1982	43	R5	I				点検					点検	
実穀上橋	市道	町道1250号線	11.5	1987	38	R5	I				点検					点検	
1015橋	市道	町道1357号線	3.2	1970	55	R5	II				点検					点検	
本郷橋	市道	町道1115号線	11	1987	38	R5	I				点検					点検	
柿の木橋	市道	町道0101号線	41	1972	53	R5	II				点検					点検	
2005橋	市道	町道2292号線	6.35	1982	43	R5	I				点検					点検	
2008橋	市道	町道2454号線	2.32	1990	35	R5	I				点検					点検	
2015橋	市道	町道2462号線	2.42	1982	43	R5	I				点検					点検	
2019橋	市道	町道2524号線	2.4	1982	43	R5	I				点検					点検	
2020橋	市道	町道2528号線	2.4	1982	43	R5	I				点検					点検	
竹来橋	市道	町道0105号線	13.57	1994	31	R5	I				点検					点検	
4001橋	市道	町道4120号線	2.6	1954	71	R5	I				点検					点検	
4002橋	市道	町道4544号線	2.4	1986	39	R5	I				点検					点検	
4004橋	市道	町道4290号線	2.65	1954	71	R5	I				点検					点検	
4005橋	市道	町道4299号線	3.76	1954	71	R5	I				点検					点検	
4007橋	市道	町道4308号線	2.4	1954	71	R5	I				点検					点検	
谷津橋	市道	町道4169号線	33.7	1997	28	R5	II				点検					点検	
浅間橋	市道	町道5177号線	24.3	1992	33	R5	I				点検					点検	
不動橋	市道	町道5102号線	20.8	1993	32	R5	I				点検					点検	
香澄橋	市道	町道5337号線	20.86	1993	32	R5	I				点検					点検	
下小池橋	市道	町道0108号線	5.3	1956	69	R5	II				点検					点検	
福田下橋	市道	町道0109号線	7.1	1955	70	R5	II				点検					点検	
6007橋	市道	町道6057号線	10.4	1967	58	R5	II				点検					点検	
福田新橋	市道	町道6432号線	21.6	2001	24	R5	I				点検					点検	
合 計 (千円)								56,043	54,083	54,744	54,181	50,377	39,650	27,265	15,789	44,287	15,049

6. 長寿命化修繕計画による効果

長寿命化修繕計画を策定する73橋について、今後50年間の事業費を比較すると、従来の対症療法型が60億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が12億円となり、コスト削減効果は48億円となる。

また、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性・信頼性が確保される。



7. 新技術等の活用方針

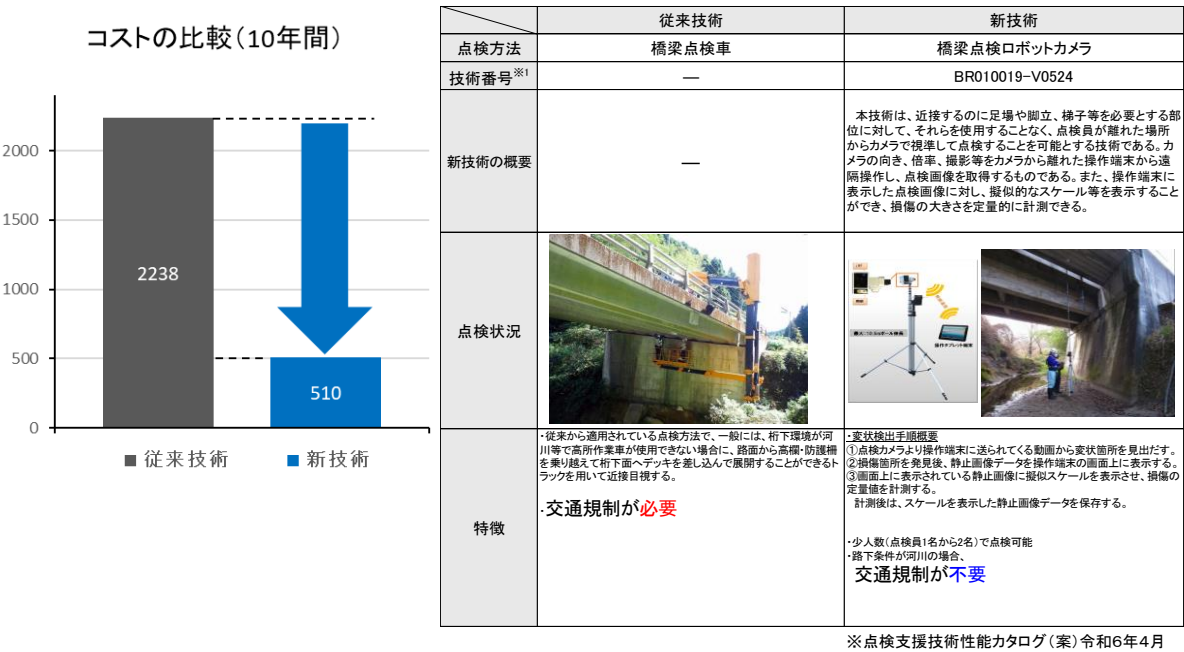
従来技術と新技術の比較検討を行い、有用な技術は積極的に活用することで、業務の効率化・高度化推進するとともに、安全性の向上やコスト削減を目指す。
また、国土交通省の『点検支援技術性能カタログ（案）』やNETIS等を活用し、最新の技術動向を踏まえた適用可能な新技術・新工法の導入を検討し、維持管理コストの削減を図る。



表-1 新技術検討例

8. 短期的な数値目標

前回点検時、点検車を使用する予定の橋梁(5橋)に新技術を採用し、コスト削減を図れた。
今後10年間で、同様の新技術を検討し、170万円のコスト削減を目指す。



9. 計画策定担当部署

計画策定担当部署
阿見町 産業建設部 道路課 tel:029-888-1111

10. 対策費用(10年間)

No.	対策年	橋梁コード	橋梁名	径間/ 躯体番号	部材種別	工法	事業費(千円)	事業費内訳(千円)			
								直接工事費	共通仮設費	現場管理費	一般管理費
1	2025	0005	1007橋		設計	緊急対策設計費	4,186	-	-	-	-
2	2025	0008	1010橋		設計	設計費	985	-	-	-	-
3	2025	0008	1010橋	1	床版	床版防水工&ひび割れ注入&断面修復&足場工	2,130	819	224	687	400
4	2025	0008	1010橋	A1	橋台	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	1,161	446	122	374	218
5	2025	0008	1010橋	1	伸縮装置	取替(両端)	4,284	1,647	450	1,382	805
6	2025	0011	1013橋		設計	緊急対策設計費	4,276	-	-	-	-
7	2025	0012	1014橋	A1,A2	橋台	ひび割れ注入&断面修復工	2,717	1,041	284	873	518
8	2025	0015	1017橋		設計	緊急対策設計費	2,726	-	-	-	-
9	2025	0016	1018橋		設計	設計費	148	-	-	-	-
10	2025	0016	1018橋	A1,A2	橋台	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	1,137	436	119	365	217
11	2025	0028	2013橋		設計	設計費	192	-	-	-	-
12	2025	0028	2013橋	1	主部材	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	961	368	101	309	183
13	2025	0028	2013橋	A2	橋台	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	516	198	54	166	98
14	2025	0029	2014橋		設計	設計費	65	-	-	-	-
15	2025	0029	2014橋	A1	橋台	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	501	192	52	161	96
16	2025	0038	大竹橋		設計	設計費	194	-	-	-	-
17	2025	0040	3007橋		設計	緊急対策設計費	17	-	-	-	-
18	2025	0040	3007橋		設計	緊急対策設計費	42	-	-	-	-
19	2025	0060	6005橋		設計	緊急対策設計費	4,276	-	-	-	-
20	2025	0061	6006橋			撤去	3,714	1,423	389	1,194	709
21	2025	0063	6008橋	1	主部材	断面修復工	1,793	689	188	578	338
22	2025	0063	6008橋	1	床版	床版防水工	1,793	689	188	578	338
23	2025	0063	6008橋	A1,A2	橋台	洗掘補修工&断面修復工	3,586	1,378	376	1,156	676
24	2025	0064	6009橋		設計	緊急対策設計費	35	-	-	-	-
25	2025	0064	6009橋		設計	設計費	573	-	-	-	-
26	2025	0065	福田上橋			撤去	11,773	4,563	1,247	3,828	2,135
27	2025	0067	6012橋		設計	緊急対策設計費	35	-	-	-	-
28	2025	0072	南平橋		設計	緊急対策設計費	2,229	-	-	-	-
29	2026	0005	1007橋	1	主部材	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	1,060	406	111	341	202
30	2026	0005	1007橋	A1,A2	橋台	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	1,138	436	119	366	217
31	2026	0011	1013橋	1	主部材	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	2,320	889	243	746	443
32	2026	0011	1013橋	A1	橋台	洗掘補修工	138	53	14	44	26
33	2026	0011	1013橋	A2	橋台	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	1,248	478	131	401	238
34	2026	0015	1017橋	1	主部材	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	10,409	4,330	1,036	3,245	1,798
35	2026	0015	1017橋	A1,A2	橋台	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	10,563	4,394	1,051	3,293	1,825
36	2026	0035	3001橋		設計	設計費	3,862	-	-	-	-
37	2026	0038	大竹橋	1	床版	床版防水工&ひび割れ注入&足場工	1,494	573	156	480	285
38	2026	0040	3007橋	A1	橋台	洗掘補修工	138	53	14	44	26
39	2026	0040	3007橋	A2	橋台	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	853	327	89	274	163
40	2026	0051	学校橋		設計	緊急対策設計費	1,479	-	-	-	-
41	2026	0052	六反橋		設計	設計費	606	-	-	-	-
42	2026	0060	6005橋	1	床版	床版防水工&ひび割れ注入&足場工	6,376	2,446	668	2,052	1,209
43	2026	0060	6005橋	A1,A2	橋台	洗掘補修工	275	105	29	88	52
44	2026	0064	6009橋	A1,A2	橋台	洗掘補修工	275	105	29	88	52
45	2026	0064	6009橋	1	伸縮装置	取替(両端)	4,407	1,688	461	1,416	841
46	2026	0067	6012橋	A1,A2	橋台	洗掘補修工	275	105	29	88	52
47	2026	0072	南平橋	1	床版	床版防水工&ひび割れ注入&足場工	3,637	1,397	382	1,172	686
48	2026	0072	南平橋	A1,A2	橋台	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	3,532	1,357	371	1,138	666
49	2027	0035	3001橋	1	主部材	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	8,710	3,849	796	2,606	1,459
50	2027	0035	3001橋	A1,A2	橋台	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	9,349	4,132	854	2,797	1,566
51	2027	0035	3001橋	1	伸縮装置	取替(両端)	11,648	5,148	1,064	3,485	1,951
52	2027	0049	権現橋		設計	緊急対策設計費	779	-	-	-	-
53	2027	0051	学校橋	1	床版	床版防水工&ひび割れ注入&足場工	5,031	2,067	509	1,581	874
54	2027	0051	学校橋	A1,A2	橋台	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	14,567	5,985	1,473	4,577	2,531
55	2027	0052	六反橋	1	床版	床版防水工&ひび割れ注入&足場工	4,661	1,786	488	1,498	889
56	2028	0001	1001橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
57	2028	0002	1002橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
58	2028	0003	1004橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
59	2028	0004	1006橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
60	2028	0005	1007橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
61	2028	0006	道祖神橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
62	2028	0007	1009橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
63	2028	0008	1010橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
64	2028	0009	実穀上橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
65	2028	0010	実穀下橋		設計	設計費	431	-	-	-	-
66	2028	0010	実穀下橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
67	2028	0011	1013橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
68	2028	0012	1014橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
69	2028	0013	1015橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
70	2028	0014	本郷橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
71	2028	0015	1017橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
72	2028	0016	1018橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
73	2028	0017	柿の木橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
74	2028	0018	2003橋		設計	設計費	197	-	-	-	-
75	2028	0018	2003橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
76	2028	0019	どうめき橋		設計	設計費	800	-	-	-	-
77	2028	0019	どうめき橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
78	2028	0020	2005橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
79	2028	0021	2006橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
80	2028	0022	2007橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
81	2028	0023	2008橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
82	2028	0024	2009橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
83	2028	0025	2010橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
84	2028	0026	2011橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
85	2028	0027	2012橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
86	2028	0028	2013橋		設計	設計費	60	-	-	-	-
87	2028	0028	2013橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
88	2028	0029	2014橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
89	2028	0030	2015橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-
90	2028	0031	2016橋		設計	設計費	56	-	-	-	-
91	2028	0031	2016橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-

No.	対策年	橋梁コード	橋梁名	径間/ 躯体番号	部材種別	工法	事業費（千円）	事業費内訳（千円）				
								直接工事費	共通仮設費	現場管理費	一般管理費	
92	2028	0032	2018橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
93	2028	0033	2019橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
94	2028	0034	2020橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
95	2028	0035	3001橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
96	2028	0036	竹来橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
97	2028	0037	上条橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
98	2028	0038	大竹橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
99	2028	0039	3005橋		設計	設計費	114	-	-	-	-	
100	2028	0039	3005橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
101	2028	0040	3007橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
102	2028	0041	3008橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
103	2028	0042	3009橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
104	2028	0043	白鷺橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
105	2028	0044	4001橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
106	2028	0045	4002橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
107	2028	0046	4004橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
108	2028	0047	4005橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
109	2028	0048	4007橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
110	2028	0049	権現橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
111	2028	0049	権現橋	1	床版	床版防水工&ひび割れ注入&足場工	5,682	2,177	595	1,826	1,084	
112	2028	0050	谷津橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
113	2028	0051	学校橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
114	2028	0052	六反橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
115	2028	0053	浅間橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
116	2028	0054	不動橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
117	2028	0055	香澄橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
118	2028	0056	下小池橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
119	2028	0057	福田下橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
120	2028	0058	島田橋		設計	設計費	280	-	-	-	-	
121	2028	0058	島田橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
122	2028	0059	6004橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
123	2028	0060	6005橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
124	2028	0062	6007橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
125	2028	0063	6008橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
126	2028	0064	6009橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
127	2028	0066	6011橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
128	2028	0067	6012橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
129	2028	0068	高根橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
130	2028	0069	6015橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
131	2028	0070	6016橋		設計	設計費	3,333	-	-	-	-	
132	2028	0070	6016橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
133	2028	0071	根崎橋		設計	設計費	629	-	-	-	-	
134	2028	0071	根崎橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
135	2028	0072	南平橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
136	2028	0073	福田新橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
137	2029	0008	1010橋		設計	設計費	251	-	-	-	-	
138	2029	0010	実穀下橋	A1,A2	橋台	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	3,313	1,269	347	1,065	632	
139	2029	0012	1014橋		設計	設計費	195	-	-	-	-	
140	2029	0016	1018橋		設計	設計費	906	-	-	-	-	
141	2029	0018	2003橋	A1,A2	橋台	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	1,512	579	158	486	288	
142	2029	0019	どうめき橋	A1,A2	橋台	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	782	300	82	251	149	
143	2029	0019	どうめき橋	1	伸縮装置	取替(両端)	5,374	2,059	563	1,727	1,025	
144	2029	0022	2007橋		設計	設計費	122	-	-	-	-	
145	2029	0024	2009橋		設計	設計費	148	-	-	-	-	
146	2029	0025	2010橋		設計	設計費	158	-	-	-	-	
147	2029	0026	2011橋		設計	設計費	787	-	-	-	-	
148	2029	0027	2012橋		設計	設計費	125	-	-	-	-	
149	2029	0028	2013橋	A1	橋台	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	460	176	48	148	88	
150	2029	0029	2014橋		設計	設計費	108	-	-	-	-	
151	2029	0031	2016橋	A2	橋台	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	428	164	45	137	82	
152	2029	0032	2018橋		設計	設計費	117	-	-	-	-	
153	2029	0037	上条橋		設計	設計費	105	-	-	-	-	
154	2029	0039	3005橋	A1	橋台	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	877	336	92	282	167	
155	2029	0043	白鷺橋		設計	設計費	1,282	-	-	-	-	
156	2029	0058	島田橋	A1,A2	橋台	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	2,152	825	225	692	411	
157	2029	0067	6012橋		設計	設計費	699	-	-	-	-	
158	2029	0070	6016橋	1	床版	床版防水工&ひび割れ注入&足場工	13,419	5,784	1,272	4,086	2,278	
159	2029	0070	6016橋	A1	橋台	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	7,445	3,209	705	2,267	1,263	
160	2029	0070	6016橋	1	伸縮装置	取替(両端)	4,777	2,059	453	1,455	811	
161	2029	0071	根崎橋	1	伸縮装置	取替(両端)	3,224	1,235	338	1,036	615	
162	2029	0071	根崎橋	2	伸縮装置	取替(終端側)	1,612	618	169	518	308	
163	2030	0007	1009橋		設計	設計費	1,179	-	-	-	-	
164	2030	0008	1010橋	1	主部材	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	1,930	740	202	620	368	
165	2030	0012	1014橋	1-1	主部材	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	1,499	574	157	482	286	
166	2030	0016	1018橋	1	伸縮装置	取替(両端)	6,971	2,677	731	2,245	1,318	
167	2030	0022	2007橋	1	主部材	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	936	359	98	301	179	
168	2030	0024	2009橋	1	主部材	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	1,137	435	119	365	217	
169	2030	0025	2010橋	1	主部材	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	1,215	466	127	391	232	
170	2030	0026	2011橋	1	主部材	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	6,054	2,320	634	1,946	1,155	
171	2030	0027	2012橋	1	主部材	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	959	367	100	308	183	
172	2030	0029	2014橋	1	主部材	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	830	318	87	267	158	
173	2030	0032	2018橋	1	主部材	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	901	345	94	289	172	
174	2030	0037	上条橋	1	主部材	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	805	309	84	259	154	
175	2030	0043	白鷺橋	1	伸縮装置	取替(両端)	9,859	3,809	1,041	3,195	1,814	
176	2030	0067	6012橋	1	伸縮装置	取替(両端)	5,374	2,059	563	1,727	1,025	
177	2031	0007	1009橋	1	主部材	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	1,916	739	202	620	355	
178	2031	0007	1009橋	1	床版	床版防水工&ひび割れ注入&足場工	1,856	716	196	601	344	
179	2031	0007	1009橋	A1	橋台	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	1,029	397	108	333	191	
180	2031	0007	1009橋	1	伸縮装置	取替(両端)	4,270	1,647	450	1,382	791	
181	2031	0041	3008橋	1	主部材	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	5,301	2,100	561	1,703	937	
182	2031	0041	3008橋	1	床版	床版防水工&ひび割れ注入&足場工	5,139	2,036	544	1,651	908	
183	2031	0041	3008橋	A1,A2	橋台	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	5,702	2,259	603	1,832	1,007	
184	2031	0068	高根橋		設計	設計費	1,215	-	-	-	-	

No.	対策年	橋梁コード	橋梁名	径間/ 躯体番号	部材種別	工法	事業費（千円）	事業費内訳（千円）				
								直接工事費	共通仮設費	現場管理費	一般管理費	
185	2031	0069	6015橋		設計	設計費	838	-	-	-	-	
186	2032	0068	高根橋	1	床版	床版防水工&ひび割れ注入&足場工	1,902	734	201	616	351	
187	2032	0068	高根橋	A1,A2	橋台	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	2,109	814	222	683	390	
188	2032	0068	高根橋	1	伸縮装置	取替(両端)	5,334	2,059	563	1,727	986	
189	2032	0069	6015橋	1	伸縮装置	取替(両端)	6,444	2,471	675	2,073	1,225	
190	2033	0001	1001橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
191	2033	0002	1002橋		設計	設計費	838	-	-	-	-	
192	2033	0002	1002橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
193	2033	0003	1004橋		設計	緊急対策設計費	80	-	-	-	-	
194	2033	0003	1004橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
195	2033	0004	1006橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
196	2033	0005	1007橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
197	2033	0006	道祖神橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
198	2033	0007	1009橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
199	2033	0008	1010橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
200	2033	0009	実穀上橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
201	2033	0010	実穀下橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
202	2033	0011	1013橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
203	2033	0012	1014橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
204	2033	0013	1015橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
205	2033	0014	本郷橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
206	2033	0015	1017橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
207	2033	0016	1018橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
208	2033	0017	柿の木橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
209	2033	0018	2003橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
210	2033	0019	どうめき橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
211	2033	0020	2005橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
212	2033	0021	2006橋		設計	緊急対策設計費	164	-	-	-	-	
213	2033	0021	2006橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
214	2033	0022	2007橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
215	2033	0023	2008橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
216	2033	0024	2009橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
217	2033	0025	2010橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
218	2033	0026	2011橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
219	2033	0027	2012橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
220	2033	0028	2013橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
221	2033	0029	2014橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
222	2033	0030	2015橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
223	2033	0031	2016橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
224	2033	0032	2018橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
225	2033	0033	2019橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
226	2033	0034	2020橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
227	2033	0035	3001橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
228	2033	0036	竹束橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
229	2033	0037	上条橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
230	2033	0038	大竹橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
231	2033	0039	3005橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
232	2033	0040	3007橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
233	2033	0041	3008橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
234	2033	0042	3009橋		設計	緊急対策設計費	61	-	-	-	-	
235	2033	0042	3009橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
236	2033	0043	白鷺橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
237	2033	0044	4001橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
238	2033	0045	4002橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
239	2033	0046	4004橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
240	2033	0047	4005橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
241	2033	0048	4007橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
242	2033	0049	権現橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
243	2033	0050	谷津橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
244	2033	0051	学校橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
245	2033	0052	六反橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
246	2033	0053	浅間橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
247	2033	0054	不動橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
248	2033	0055	香澄橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
249	2033	0056	下小池橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
250	2033	0057	福田下橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
251	2033	0058	島田橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
252	2033	0059	6004橋		設計	緊急対策設計費	130	-	-	-	-	
253	2033	0059	6004橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
254	2033	0060	6005橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
255	2033	0062	6007橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
256	2033	0063	6008橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
257	2033	0064	6009橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
258	2033	0066	6011橋		設計	緊急対策設計費	414	-	-	-	-	
259	2033	0066	6011橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
260	2033	0067	6012橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
261	2033	0068	高根橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
262	2033	0069	6015橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
263	2033	0070	6016橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
264	2033	0071	根崎橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
265	2033	0072	南平橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
266	2033	0073	福田新橋		点検	定期点検	600	-	-	-	-	
267	2034	0002	1002橋	1	伸縮装置	取替(両端)	6,444	2,471	675	2,073	1,225	
268	2034	0003	1004橋	1	主部材	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	397	152	42	128	76	
269	2034	0003	1004橋	A2	橋台	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	214	82	22	69	41	
270	2034	0021	2006橋	1	主部材	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	606	232	63	195	116	
271	2034	0021	2006橋	A1,A2	橋台	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	650	249	68	209	124	
272	2034	0041	3008橋		設計	設計費	699	-	-	-	-	
273	2034	0042	3009橋	1	主部材	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	305	117	32	98	58	
274	2034	0042	3009橋	A1	橋台	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	164	63	17	53	31	
275	2034	0059	6004橋	1	主部材	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	483	185	51	155	92	
276	2034	0059	6004橋	A1,A2	橋台	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	519	199	54	167	99	
277	2034	0066	6011橋	1	主部材	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	2,070	793	217	665	395	

No.	対策年	橋梁コード	橋梁名	径間/ 躯体番号	部材種別	工法	事業費（千円）	事業費内訳（千円）			
								直接工事費	共通仮設費	現場管理費	一般管理費
278	2034	0066	6011橋	A1	橋台	表面被覆&ひび割れ注入&断面修復&足場工	1,114	427	117	358	213
279	2034	0072	南平橋		設計	設計費	1,384	-	-	-	-
280	2035	0016	1018橋		設計	設計費	60	-	-	-	-
281	2035	0040	3007橋		設計	設計費	699	-	-	-	-
282	2035	0041	3008橋	1	伸縮装置	取替(両端)	5,374	2,059	563	1,727	1,025
283	2035	0058	島田橋		設計	設計費	699	-	-	-	-
284	2035	0072	南平橋	1	伸縮装置	取替(両端)	10,644	4,118	1,125	3,454	1,946